

平成 11 年度言語研修
ペルシア語教材

ペルシア語入門

羽 田 亨 一

Adeleh SA 'IDZADEH

編著

東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所
1999

ペルシア語入門

羽 田 亨 一

Adeleh SA‘ID-ZADEH

編著

はしがき

本書は1999年度東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所のペルシア語研修用テキストである。この研修は短期集中方式(1日6時間、土・日曜日を除く連続25日間)で受講者に初級ペルシア語の読み・書き・会話能力を授けることをその目的とする。そこで、本書は御覧のとおり「I.音と文字」、「II.文法の概略」、「III.講読」の3部から成っている。

当言語研修の大きな特徴は研修期間中常に日本人とインフォーマント役のネイティヴ・スピーカーがペアで教えるところにある。従ってインフォーマントをいかに有効に活用できるかが研修の成否を握る鍵になる。今回のインフォーマントAdeleh SA'IDI-ZADEH 女史はイランの高等学校で哲学・論理学を教えるベテラン教師ではあるが、外国人にペルシア語を教えた経験はなく、日本語も殆ど解さない。女史をなるべく退屈させずに授業を進めるためにも、「II.文法の概略」は扱う文法項目も最低限に絞り、その説明もなるべく簡単にしている。足らないところは、講読段階で補えばいいというのが我々の考え方である。

「I.音と文字」、「II.文法の概略」はもっぱら羽田が作成し、「III.講読」に収録された文章はSA'IDI-ZADEHの手になるものおよび同人がイランの小学校国語教科書などから抜粋したものである。"āgā va mostaxdem(主人と召使い)"のみ各種疑問詞を提示するために羽田が作った。

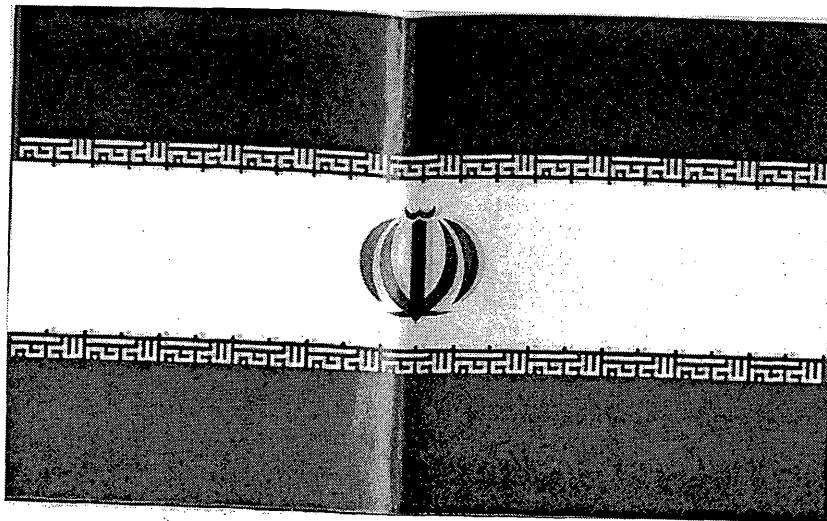
I. 音と文字	1
1. 音	2
1-1 子音	2
1-2 母音	2
発音練習	3
2 文字と書き方	5
2-1 アルファベット	5
2-2 文字の書き順	6
2-3 短母音記号	6
書き方の練習	7
文章の解説	9
挨拶	11
授業中よく用いられる言葉	11
II. 文法の概略	13
1. این in と آن an	14
1-1 指示代名詞	14
複数語尾	14
疑問詞	14
1-2 指示形容詞	16
2. エザーフェ	17
3. 人称代名詞と動詞 بودن の است ast 型現在活用	19
[再帰代名詞]	19
4. 不定のىと接尾辞 ئ	22
5. 物の位置関係を示す前置詞	23
6. 動詞の活用 (1)	24

6-1 動詞 「見る」の活用表	24
6-2 単純過去形	26
6-3 現在形	29
6-4 現在進行形	32
7. 形容詞と副詞の比較級・最上級	33
7-1 比較級	33
7-2 最上級	34
8. 動詞の活用 (2)	36
8-1 未来形	36
8-2 現在完了形	38
8-3 過去完了	40
8-4 命令形	42
9. 数詞	44
9-1 基数	44
9-2 序数	45
9-3 分数	45
9-4 パーセント	46
9-5 …倍	46
10 時刻の表し方	47
11 動詞の活用 (3)	48
11-1 叙想法現在	48
11-2 叙想法過去	49
12 受動態	50
13 接続詞	51
よく用いられる接続詞とその用例	51
14 条件文	55

三. 講読	57
آقا و مستخدم	58
خود را معرفی کردن	59
معرفی کردن دوست خود	60
در رستوران	61
مادر، من گرسنه ام	63
مکالهٔ تلفنی	64
خانوادهٔ ما	65
خانهٔ ما	66
خانهٔ جدید ما	67
من و حمید	68
من و ناصر	69
روزهای هفته	70
تقویم سال	72
تابستان	74
نوروز	75
سوزمین ایران	76
نظام آموزش در ایران	78
حقیقتهایی دربارهٔ ایران	80
مسافرت به اصفهان	81
سرگذشت یک نامه	82
باغ انار	83
همکاری	84
سیب‌های گاز زده	85
چوپان دروغگو	86
طبیب شدن نقاش	87

حکایت	88
عینک سواد نمی آورد	89
فروشنده و خریدار	90
امیر و فقیر	91
حکایت	92
ملیکا خانم	94
روباه و کلاغ	95
سلطان و هیچ	96
گنج کشاورز	97
پادشاه و بزرگ دربار	98
خیّاط و کوزه	99
خانم امیری زن خوشبختی است	100
مثل بهار	101
راحله و اطلسی هایش	102
حکایت	103
دانش و پاداش	104
حرف مردم	106
ابو علی سینا دانشمند بزرگ ایران	108

I. 音と文字



پرچم کشور جمهوری اسلامی ایران
parčam-e kešvar-e jomhūrī-ye eslāmī-ye īrān
イラン・イスラーム共和国旗

1. 音

1-1 子音

清音	濁音
p	b
t	d
k	g
č	j
f	v
s	z
š*	ž*
x*	g*
l*	
m	
n	
r	
h*	
y	

(* の付いたものは日本人にとって注意すべき音。)

1-2 母音

長母音	短母音	二重母音
ā	a	ei
ī	e	ou
ū	o	

発音練習

ā & a

āmadan 来る raftan 行く māndan 残る goftan 言う kār 仕事 kardan する

panjare 窓 dar 扉 dīvār 壁 ās(e)mān 空, 天 setāre 星 māh 月 dast 手 pā 足

mādar 母 pedar 父 kāse 碗 barādar 兄, 弟 boland 長い kūtāh 短い medād 鉛筆

sard 寒い, 冷たい garm 暑い, 暖かい asb 馬 gorbe 猫 sag 犬 dahān 口 dandān 齒

sar 頭 sūrat 顔 bāzī 遊び pesar 男兒, 息子

x

xāhar 姉, 妹 doxtar 女兒, 娘 xāndan 読む xāstan 望む xāne 家 kāx 宮殿

xārej 外 taxt-e xāb ベッド xābidan 寝る xordan 食べる, 飲む xandidan 笑う

poxtan 煮る xabar ニュース xaste 疲れた ostoxān 骨 xasis けちな talx 苦い

dāxel 中 xarāb 壊れた xarid 買う xarid 買い物 forūxtan 売る sāxtan 作る

xesārat 損害 zaxim 厚い deraxt 樹木 xeili 非常に axiran 最近 estaxr プール

andāxtan 投げる xande 笑い xoš-axlāg 気だての良い

ğ

otāğ 部屋 čāğ 太った lāgar 痩せた čāğū ナイフ ġalb 心臓 ġarb 西 bagal 脇

ġad(d) 背丈 ġand 角砂糖 'araġ 汗 taġvīm 曆 ġazā 食べ物 ġafase 棚 maġz 脳

ġorūb 日没 kāgaz 紙 čerāg 灯り ġāblame 鍋 ġiyāfe 容貌 barg 電気

daġig 正確な daġige 分 ġeimat 値段 'aġab 後ろ gofl 錠前 ġeiči ハサミ bāg 庭園

maġāze 店 ġeibat kardan 欠席する ġabl 前 mostaġim 真っ直ぐな meġdār 量

š

šāgerd 生徒 dānešjū 学生 dānešgāh 大学 ġāšog 匙 kešvar 国 šogl 職業

ġašang 綺麗な šāne 肩 šeš 6 hašt 8 šast 6 0 šomāl 北 šekar 粉砂糖

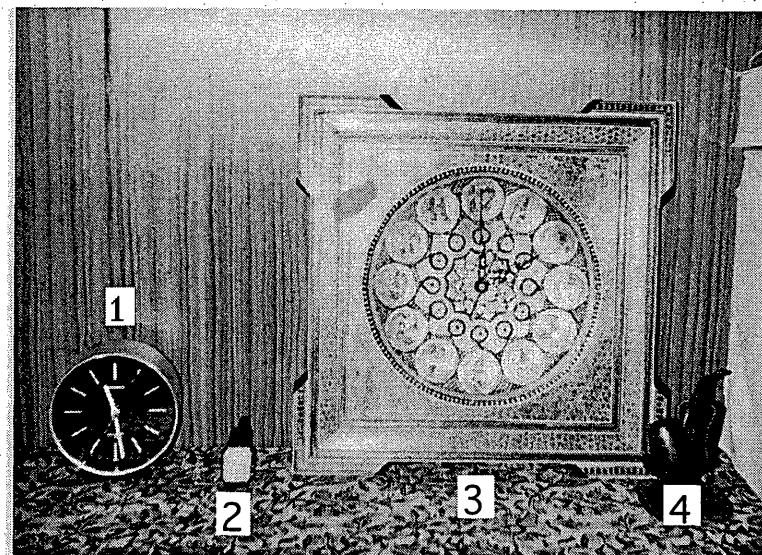
tašakkor 感謝 moškel 難しい bošgāb 皿 tešne 喉の乾いた šiše ガラス, ビン

šekastan 壊れる, 壊す nešastan 座る neveštan 書く šir ミルク, ライオン, 蛇口

šodan なる šūxī 冗談 šerkat 会社 šostan 洗う nūšābe 飲料 kešidan 引く

į
 mojde 朗報 jāket ジャケット jāmbon ハム moje 眉 į āpon 日本 įale 露
 įāndārmerī 辺境警備隊 dej 城塞 įele ゼリー įānviye 一月 įenerāl 将軍 įu'an 六月
 įu'iyē 七月 įūrnāl 雜誌 įimnāstik 体操 ajdar 竜 pajmorde 姦れた reje 行進
 rejim 政体 ībājūr 電気の笠

h
 īgahve 珈琲 tehrān テヘラン mohr 印鑑 mehrabān 親切な īchre 顔 šahr 市
 sahm 分け前 deh 村 dah 10 māh 月 mahtāb 月光 kūh 山 kolāh 帽子 kāh 薫
 šāh 王 šahbānū 王妃 sobh 朝 solh 平和 tahnešin 沈殿物 negahbān 監視人
 mehmān 客 kohne 古い mahsūl 収穫物 rāh 道 meh 霧 fahmīdan 理解する



1. ساعت رومیزی sā'at-e rū-mīzī
2. ساعت مچی sā'at-e močī
3. ساعت دیواری sā'at-e dīvārī
4. پیپ pip

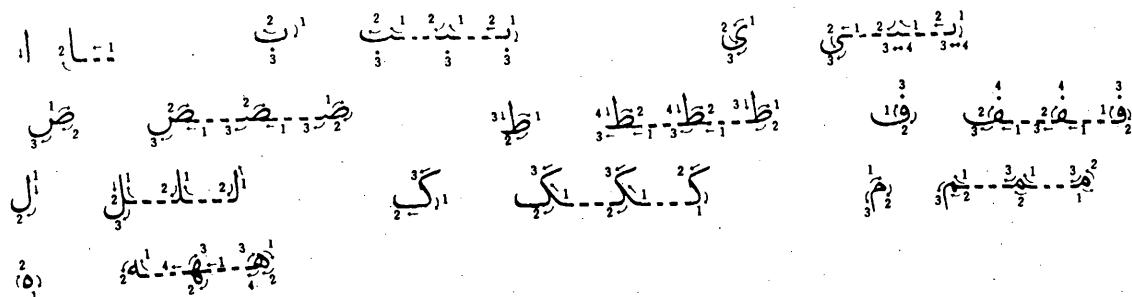
2. 文字と書き方

2-1 アルファベット

翻字	尾字	中字	頭字	単独	名称
ā,a	ا	ا	ا	ا	alef
b	ب	ب	ب	ب	be
p	پ	پ	پ	پ	pe
t	ت	ت	ت	ت	te
s	ش	ش	ش	ش	se
j	ج	ج	ج	ج	jīm
č	چ	چ	چ	چ	če
h	ح	ح	ح	ح	he-ye jīmī
x	خ	خ	خ	خ	xe
d	د	د	د	د	dāl
z	ذ	ذ	ذ	ذ	zāl
r	ر	ر	ر	ر	re
z'	ز	ز	ز	ز	ze
ج	ژ	ژ	ژ	ژ	je
s	س	س	س	س	sīn
š	ش	ش	ش	ش	šīn
ص	ص	ص	ص	ص	sād
ض	ض	ض	ض	ض	zād
ط	ط	ط	ط	ط	tā
ظ	ظ	ظ	ظ	ظ	zā
'	ع	ع	ع	ع	'ein
غ	غ	غ	غ	غ	gein

f	ف	ف	ف	ف	fe
q	ق	ق	ق	ق	gāf
k	ك	ك	ك	ك	kāf
g	گ	گ	گ	گ	gāf
l	ل	ل	ل	ل	lām
m	م	ـ	ـ	ـ	mīm
n	ن	ـ	ـ	ـ	nūn
v,ū	و	و	و	و	vāv
h	ه	ـ	ـ	ـ	he-ye havvaz
y,ī	ي	ـ	ـ	ـ	yā

2-2 文字の書き順



2-3 短母音記号

a _____ fathe/zebar [例] أَسْبَ asb (馬)

e _____ kasre/zīr [例] اَصْفَهَانَ esfahān (都市名)

o _____ zamme/pīš [例] أُسْتَانَ ostān (州)

_____ (taṣdīd) : 子音が二つ重なっていることを示す。

_____ (sokūn) : 母音が付かないことを示す。

_____ (hamze) : 声門閉鎖。語末の無音のء の上についている場合には yeと発音する (エザーフエのヤエ) .

書き方の練習

احتیاج	حال	ماج	پیچ	بچه
احتیاج	حال	ماج	پیچ	بچه
تحت	خطر	روح	صبح	محل
کرت	خطر	روح	صبح	محل
ذخیره	خدا	دراز	رُخ	تلخ
ذخیره	خدا	دراز	رُخ	تلخ
زاله	بُز	آز	برادر	رعد
زاله	بُز	آز	برادر	رعد
شنا	کس	داس	مسْت	سر
شنا	کس	داس	مسْت	سر
شخص	صَحْنِه	کِش	ضامِن	پُشت
شخص	صَحْنِه	کِش	ضامِن	پُشت

مَطَبٌ	طاَقَت	قَبْض	غَصَبٌ	شَصْتٌ
مَطَبٌ	طاَقَت	قَبْض	عَصَبٌ	شَصْتٌ
عَكْسٌ	شُروعٌ	لَحْظَهِ	ظُهُورٌ	خَطٌّ
عَكْسٌ	شُروعٌ	لحظَهِ	ظُهُورٌ	خَطٌّ
مُرْغٌ	مَغْرِبٌ	غَمٌّ	شَمْعٌ	شِعْرٌ
مُرْغٌ	مَغْرِبٌ	نَمٌّ	شَمْعٌ	شِعْرٌ
شُمَالٌ	شِشْتَنٌ	شِكَارٌ	شَسْتٌ	شِشٌ
شُمَالٌ	شِشْتَنٌ	شِكَارٌ	شَسْتٌ	شِشٌ
شِشْتَنٌ	شِشْتَنٌ	مُشْكِلٌ	تَشَكُّرٌ	شِشْصَدٌ
شِشْتَنٌ	شِشْتَنٌ	مُشْكِلٌ	تَشَكُّرٌ	شِشْصَدٌ
ضَحَيْمٌ	گُوشٌ	کُوشِشٌ	کَمَانٌ	کَمَالٌ
ضَحَيْمٌ	گُوشٌ	کُوشِشٌ	کَمَانٌ	کَمَالٌ

شیراز یکی از قشنگترین شهرهای ایران است.
شیراز یکی از قشنگترین شهرهای ایران است
این شهر مرکز استان فارس است.
این شهر مرکز استان فارس است
آرامگاه سعدی و حافظ در این شهر است.
آرامگاه سعدی و حافظ در این شهر است
مردم ایران شیراز را خیلی دوست دارند.
مردم ایران شیراز را خیلی دوست دارند
در بهار، آب و هوای این شهر از همهٔ شهرهای ایران بهتر است.
در بهار آب و هوای این شهر از همهٔ شهرهای ایران بهتر است

文章の解説

شیراز یکی از قشنگترین شهرهای ایران است.

širāz yekī az gašangtarin šahrhā-ye īrān ast.

شیراز : 都市名、イラン南部、ファールス州の主邑。

یکی : 数詞「1」+不定の「یکی」、「1つ」

از : 部分を表す前置詞。

قشنگ : 形容詞「美しい」の最上級。原級、比較級が名詞の後に置かれるのに対し、最上級は名詞の前に置かれる。

شهرهای 「都市」 + **هـ**(複数語尾)+**يـ**(連結辞.エザーフェと言う). 二つ以上の語句が並んでいて,それらが意味上つながっている場合,前の語句の語末に‘e’(語末が子音の場合) もしくは‘ye’(語末が母音の場合) を付ける.

آست : 動詞 **بودن** 「です,ある,いる」の三人称単数現在形.

文章の意味 : シーラーズはイランの最も美しい都市の1つです.

این شهر مرکز استان فارس آست.

īn šahr markaz-e ostān-e fārs ast.

این : 指示形容詞「この」.名詞の直前に置かれる。「あの」は آن

مرکز : 中心.

استان : 州

فارس : 地名. ファールス.

文章の意味 : この町はファールス州の中心です.

[注意] استانと مرکز の後に“e”(エザーフェ)を入れるのを忘れないように!

آرامگاه سعدی و حافظ در این شهر آست.

ārāmgāh-e sa`dī va hāfez dar īn šahr ast.

آرامگاه : 廟

سعدي : シーラーズ出身の有名な詩人.その詩集『ゴレスター』と『ブースター』は有名.

و : 等位接続詞「と,そして」. ‘o’ とも発音される. ‘o’ と発音する場合は,前の語との間に間隔を置かない.

حافظ : シーラーズ出身の有名な詩人.

در : 場所・時間を表す前置詞「で,に」

文章の意味 : サアディーとハーフェズの廟はこの町にあります.

مردم ایران شیراز را خیلی دوست دارند.

mardom-e īrān šīrāz rā xeilī dūst dārand.

مردم : 「人々」.

را : 指示形容詞などの限定詞が付いていたり,付いていなくても限定されていることが相手にとって明瞭な直接目的語に付ける後置詞.

خیلی : 「非常に」

دوست دارند : 動詞「好む」の三人称複数現在形.

文章の意味 : イランの人々はシーラーズが大好きです.

در بهار، آب و هوای این شهر از همهٔ شهرهای ایران بـهتر است.

dar bahār, āb o havā-ye īn šahr az hame-ye šahrhā-ye īrān behtar ast.

بهار : 「春」

آب و هوا : 「気候」。発音は ‘āb o havā’

از : 「…より」。比較の対象に付ける前置詞。

بـهتر : 形容詞 خوب「良い」の比較級。

文章の意味 : 春、この町の気候はイランの全ての（どの）町よりも良いです。

挨拶

朝、昼、夜を問わず用いられる挨拶の言葉。

سلام salām.

お早うございます。

صبح بـخـير。sobh bexeir.

今日は。

روز بـخـير。rūz bexeir.

今晩は（夕方から早晚にかけて用いられる）。

عـصـر بـخـير。asr bexeir.

おやすみなさい。

شـب بـخـير。shab bexeir.

お会いできて嬉しいです。

از دیدن شـمـا خـوـشـقـتـم az dīdan-e šomā xošvaqtam.

私も御同様です。

من هـم هـمـچـنـیـن。man ham hamčonin.

ご機嫌如何ですか。

حال شـمـا چـطـورـاـست؟ hāl-e šomā četour ast?

元気です。あなたは？

حالـم خـوـبـ است. وـ شـمـا؟ hālam xūb ast va šomā?

私も元気です。

من هـم خـوـبـ man ham xūbam

さようなら。

خـدـا حـافـظـ xodā hāfez.

授業中よく用いられる言葉

聞いてください。

لطفاً گوش کـنـید。lotfan gūš konid.

見て下さい。

بـبـيـنـيد. / نـگـاهـ کـنـيد。bebīnid/negāh konid.

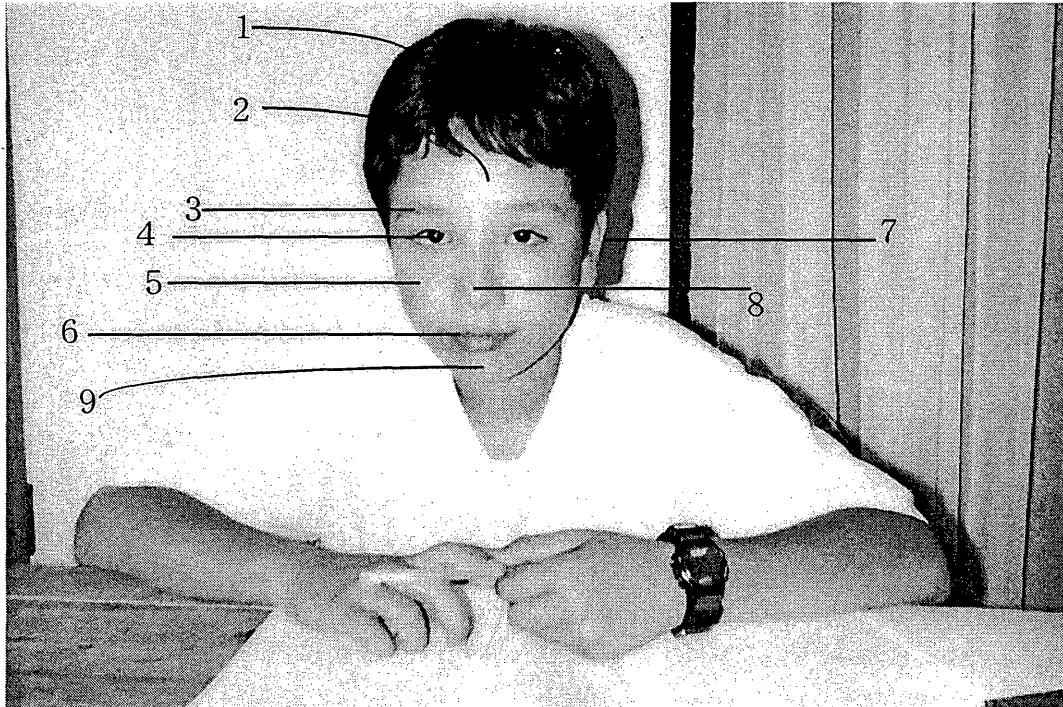
読んでください。

بـخـوانـيد。bexānid.

書いてください。

بنـوـيـسـيد。benevisid.

言って下さい。	begū'īd.	بگوئید.
分かりましたか。	fahmīdīd?	فهّمیدید؟
はい。	bale	بله
いいえ。	na/naxeir	نه / نخیر.
有りがとうございます。	motešakkeram/mamnūnam	مُتّشکرَم / مَمْنُونَم .
すみません。	bebaxšid	پیخشید.
どういたしまして。	xāheš mīkonam.	خواهش می گنم.
お疲れさま。	xaste nabāšid	خسته نباشد.



سر و صورت sar va sūrat

顔と頭

چشم češm 4	ابرو abrū 3	پیشانی pīšānī 2	مو mū 1
گوش gūš 7	دهان dahān 6	گونه gūne 5	
چانه čāne 9	دماغ bīnī/damāg 8		

II. 文法の概略

اين آن و in آين 1.

1-1. 指示代名詞

これ／あれ(それ)は何ですか。	اين/آن، چيست？ ←
ボールペンです。	خودکار است. ←
これ／あれは万年筆ですか。	آيا اين/آن، خودنويس است؟ ↑
はい、万年筆です。	بله، خودنويس است. ←
これ／あれは鉛筆ですか。	اين/آن، مداد است؟ ↑
いいえ、鉛筆ではありません。	نخیر، مداد نیست. ←
これ／あれは定規ではありませんか。	اين/آن، خط کش نیست؟ ↑
はい、定規ではありません。	نه، خط کش نیست. ←
いいえ、定規です。	چرا، خط کش است. ←
چ = 何	چيست ⇒ چه است

[発音上の注意]

←↑は文末の抑揚を示す。すなわち、←は平坦、↑は尻上がり。

ā, ī, ū + ast ⇔ ā-st, ī-st, ū-st.

زير سيگاري است zīrsīgārī-st جداست jodā-st چاقو است čāqū-st

[複数語尾]

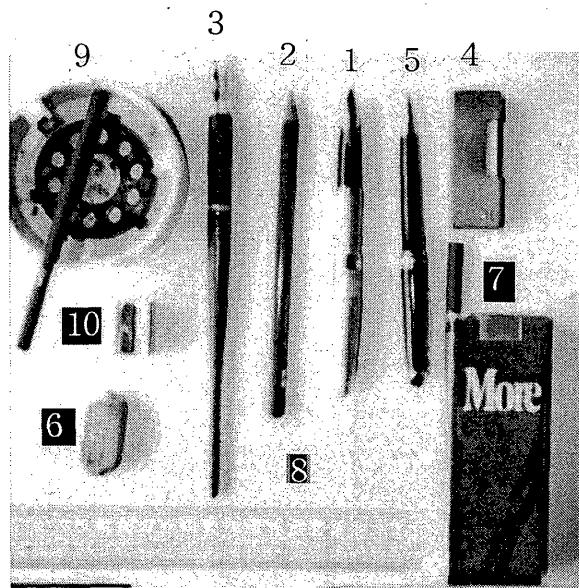
ペルシア語には二種の複数語尾 آن an と ها hā がある。人間には前者が、それ以外の物、特に無生物には後者を用いる習わしであったが、最近では、特に口語では、人間にも後者が多く用いられる。 آنها → آن اينها → آن

گوسفندان gūsfand 羊

خانم xānom 婦人

[主な疑問詞]

چ (چي)	če (čī)	何	کجا kojā	どこ	کي kī	誰
کي	kei	いつ	چرا čerā	何故	چطور četour	どう
کدام	kodām	どれ	چند čand	i幾つ	چقدر čegadr	どれ程



万年筆	xodnevīs	1 خودْ نویس
鉛筆	medād	2 مداد
筆	galam	3 قلم
ライター	fandak	4 فندک
ボールペン	xodkār	5 خودْ کار
消しゴム	medād pāk kon	6 مداد پاک کن
タバコ	sīgār	7 سیگار
定規	xatt keš	8 خط کش
灰皿	zīrsigārī	9 زیر سیگاری
鉛筆削り	medād tarāš	10 مداد تراش

練習 ペルシア語になおしなさい。

01. これは何ですか。万年筆です。
02. あれは何ですか。ライターです。
03. これは定規ですか。
04. はい、定規です。
05. いいえ、定規ではありません。
06. では、何ですか。
07. 灰皿です。
08. あれは消しゴムですか。
09. はい、消しゴムです。
10. いいえ、消しゴムではありません。万年筆です。
11. これは鉛筆削りではありませんか。
12. いいえ、鉛筆削りです。
13. はい、鉛筆削りではありません。

では پس pas

1 - 2. 指示形容詞

この／あの(その)鉛筆は長いです。	این/آن مداد بلند است.
この／あの(その)鉛筆は長くありません。	این/آن خودکار بلند نیست.
この／あのライターは重いです。	این/آن فندک سنگین است.
この／あのライターは重いですか？	این/آن فندک سنگین است؟

[読み方の注意]

این / آن とそれに続く名詞の間に間隔をおかないように！

単語

パン nān	果物 mīve	ミュー ジュース ābmīve	آب میوه / آب میوه	水 āb
短い, 低い kūtāh	コタハ 長い, 高い boland	بلند	チーズ panīr	バター kare
bozorg	小さい kūček	کوچک سُبک	軽い sabok	重い sangīn
kond	鋭い tīz	کیف	汚れた kasīf	清潔な tamīz
薄い, 細い nāzok	ナズク 安価な arzān	آرزان	高価な gerān	鈍い
古い کهنه	新しい tāze	خوشمزه	太い koloft	كُلْفت
カップ fenjān	コップ livān	ليوان	ナイフ čāgū	چاقو kohne

練習 ペルシア語になおしなさい。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 01. この鉛筆は短いです。 | 09. この水はきれいです。 |
| 02. あの消しゴムは小さいです。 | 10. あの水はどうですか。 |
| 03. このコップは大きいです。 | 11. この鉛筆は短くありません。 |
| 04. あのチーズは安いですか。 | 12. あの消しゴムは大きいです。 |
| 05. このボールペンは高いです。 | 13. このナイフは鈍いです。 |
| 06. あのパンは新しくありません。 | 14. あの鉛筆削りは小さいですか。 |
| 07. このペンは軽いです。 | 15. このカップはきれいです。 |
| 08. あの灰皿は汚れています。 | 16. あのジュースは美味しいくありません。 |

2. エザーフェ

大きい家	xāne-ye bozorg	خانه بزرگ
あの男の息子	pesan-e ān mard	پسر آن مرد
	otāg-e tamīz-e xāne-ye an mo‘allem	اتاق تمیز خانه آن معلم
あの先生の家の清潔な部屋		دانشجوی گروه تاریخ دانشکده ادبیات دانشگاه توکیو
dānešjū-ye gorūh-e tārīx-e dāneškade-ye adabīyāt-e dānešgāh-e Tokyo		東京大学文学部歴史学科の学生
富士山	Kūh-e Fuji	کوه فوجی
ナスィーリー（姓,男性）さん	āgā-ye Nasīrī	آقای نصیری
モハンマドウ（名,男性）さん	Mohammad āgā	محمد آقا
ナスィーリー（姓）夫人	xānom-e Nasīrī	خانم نصیری
ゴルナーズ（名,女性）さん	Golnāz xānom	گلناز خانم
本屋のハサン	Hasan-e ketāb-forūš	حسن کتاب فروش
* 語順：基本的に被修飾語 + 修飾語。		

二つ以上並んだ単語がお互いに修飾、被修飾もしくは同格関係などにある場合、それらの単語の間にeもしくはye音を入れる。この連結詞をエザーフェと言う。

例えば、**این گل سرخ است** という文章は、in gol sorx astともin gol-e sorx astとも読めるが、前者は「この花は赤い」の意味であり、後者は「これは赤い花/バラです」の意味である。このようにエザーフェを入れるか入れないかで、意味が変わったり、意味が分からなくなったりするので、常にエザーフェの存否に注意しなければならない。とりわけ、文を読む際、語末が子音の語に付いたエザーフェは文字として現れないので注意を要する。

単語

靴 kafš	鞄 kif	كيف	息子／男の子 pesar	پسر	娘／女の子 doxtar	دُخْتَر
兄・弟 barādar	父親 pedar	پدر	母親 mādar	مادر	辞書 farhang	فرهنگ
先生 mo‘allem	机 mīz	میز	椅子 sandalī	صندلی	姉・妹 xāhar	خواهر
مرد lāgar	太った čāg	لاعْر	壁 divār	دیوار	若者,若い javān	جوان
مهربان panjare	窓 pēngarhe	پنجره	ガラス šiše	شیشه	扉 dar	در
					女 zan	زن
					男 mard	

darsxān 厳格な saxtgir سختگیر 柱 sotūn سُتُون 優しい mehrabān
در سخوان کتاب فروش کتاب فروش 本 ketāb 本 カタブ よく勉強する

練習 ペルシア語になおしなさい。

01. この女の子の部屋はどれですか.

婦人服 لباس زنانه

lebās-e zanāne

02. あの男子の子の鞄はどこですか.

男子服 لباس مردانه

lebās-e mardāne

03. あの学生は誰ですか。

04. この男子の子はあの女の人の息子です.

05. この男子の母親はあの女人です.

06. あの女の子の椅子は低いです.

07. あの若者は東京大学の学生です.

08. あの太った男の人は歴史の先生です.

厚い koloft كلفت

09. この部屋の壁は厚いです.

10. ナスイーリー夫人の息子は小さくありません. 大きいです.

11. あの窓のガラスは汚いです.

12. あの男子の子の鞄は小さいです.

13. この部屋の窓は大きいです.

14. あの女の子のお母さんは痩せています.

15. あの先生は優しいです.

16. あの大きな家の柱は太いです.

17. あの学生はよく勉強します.

18. 彼のお父さんは厳しいです.

19. あの男の人は本屋さんです.

3. 人称代名詞と動詞 ast 型現在活用

	单数	動詞	複数	動詞
	独立形 接尾辞形	接尾辞形／独立形 否定形	独立形 接尾辞形	接尾辞形／独立形 否定形
1人称	من م (يم)	هستم / آم نيستم	ما يمان (يمان)	هستيم / ايم نيستيم
2人称	تو ت (يت)	هستي / اي نيستي	شما ستان (ستان)	هستيد / ايد نيستيد
3人称	او ش (يش)	است نيست	ايشان / أنها يشان (يشان)	هستند / آند نيستند

[注] *接尾辞形人称代名詞は主に所有を表す。 كتاب ketābam 「私の本」

* 無音の ئで終わる語に接尾辞形人称代名詞が付く場合、書き方、読み方は次の通りである。خانه ام xāne-am, خانه ات xāne-at, خانه اش xāne-aš,
خانه شان xāne-mān, خانه تان xāne-tān, خانه مان xāne-šān

* to ト は非常に親しい者や目下の者・子供に対して、もしくは神への呼びかけに用いられ、普通、شما が用いられる。

* او には「彼」、「彼女」両方の意味がある。

* ايشان は敬語での代わりに用いられる。

* 口語では「あなた達」に شما の形も用いられる。

* 「ある(存在する)」の意味では、3人称单数は هست hast.

[再帰代名詞] خود xod 「自身」に接尾辞形人称代名詞を加える。

خودم، خودت، خودش، خودمان، خودستان، خودشان

[例]

声, 音 sedā صدا

من دانشجو هستم = من دانشجو آم.

کتاب من نازک است. = کتابم نازک است.

صدای من خوب است. = صدایم خوب است.

تو پسر هستی = تو پسری.

مادر تو جوان است. = مادرت جوان است.

خانه او بزرگ نیست. = خانه آش بزرگ نیست.

ما پسر هستیم = ما پسریم.

صندلی ما بلند است. = صندلی مان بلند است.

شما دختر هستید = شما دخترید.

معلم تاریخ شما مهربان است. = معلم تاریختان مهربان است.

ایشان معلم هستند = ایشان معلم آند.

دانشگاه آنها بزرگ است = دانشگاه‌هشان بزرگ است.

銀行 bānk 病院 bīmārestān بیمارستان 建物 sāxtemān ساختمان

赤 ġermez 黑 meškī / مشکی قرمز rang سفید سیاه 白 sefid 色 rang

濃い灰色 tūsī 灰色 xākestari طوسی خاکستری sorme'i سرمه ای آبی آبی

zard 金色 talā'i 色 sabz 绿色 zard 金色 talā'i 金色 sabz

茶 čāy چای šir شیر ミルク 茶色 gahve'i カフェ色 gahve コーヒー 緑

چه رنگی keşvar 何色 āsemān آسمان esm 名前 空 āsemān 空

政府 doulat 首都 pāytaxt 国 pāytaxt

練習 ペルシア語になおしなさい。

01. 私は男です。

02. お前は男だ。

03. 彼は歴史の先生です。

04. 私たちはこの大学の学生ではありません。

05. あなた達は若いです。
06. あの人達は勉強家です。
07. あの太った男の人は彼のお父さんです。
08. あの大きな白い家は誰のものですか.
09. このミルクはあなたの物です。
10. ミルクは何色ですか.
11. あの大きい白い建物は病院です.
12. あなたの部屋の壁は何色ですか.
13. 水は何色ですか.
14. コーヒーは何色ですか.
15. 空は何色ですか.
16. このボールペンは誰の物ですか.
17. お名前は何ですか.
18. あなたの家は大きいですか.
19. あなたの机は大きいですか.
20. あなたの国はどこですか
21. あなたの国の首都はどこですか.
22. 日本は私たちの国です.
23. あなたの部屋は清潔ですか.

…のもの māl-e ... مال

4. 不定のと接尾辞 **را**

昨日あなたは何をしましたか・

دیروز چه / چه کار کردید؟

本を読みました。

کتاب خواندم.

どんな本を読みましたか

چه کتابی خواندید؟

『イラン史』という本を読みました。

کتاب «تاریخ ایران» را خواندم.

ペルシア語には日本語と同じく冠詞がない。英語の不定冠詞の代わりに名詞に **ی** を付ける。この **ی** を不定の **ی** という。不定の **ی** にはアクセントを置かない。

كتابی の **ی** にアクセントを置けば、「文語の」の意になり、アクセントを置かなければ、「ある／一冊の本」になる。

ا، و، ی 無音の **ه** で終わる名詞に不定の **ye** を付けるときには次のように書く。

جایی، کشونی، صندلی ای، خانه ای

場所 **jā**

引き出し **kešou**

名詞に形容詞が付いている場合、不定の **ی** は名詞に付けても、形容詞に付けても良い。

خانه بزرگی = خانه ای بزرگ

不定の **ی** の代わりに数詞 **یک** 「1」 を名詞の前に置いても良い。

指示形容詞などの限定詞が付いていたり、付いていなくとも限定されたものであることが明瞭な直接目的語には後置詞 **را** を付ける。

この本を読みました。

این کتاب را خواندم.

公園で小さい犬を見ました。

در پارک سگ کوچکی دیدم.

学校であなたの弟を見ました。

در مدرسه برادر شما / برادرتان را دیدم.

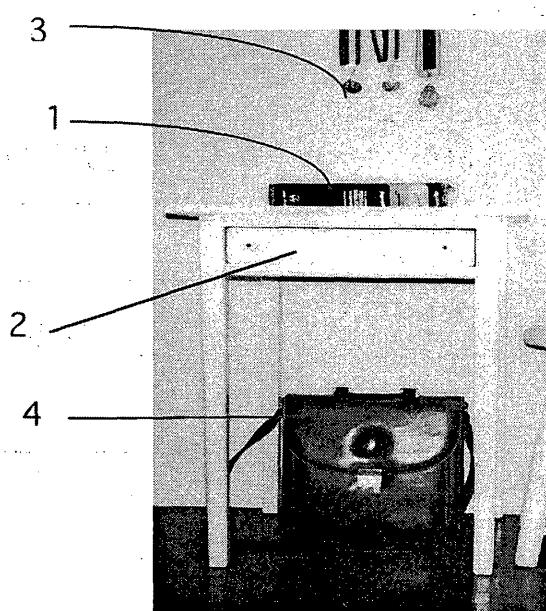
先生は自分の本を生徒に貸した。

معلم کتاب خود را به شاگرد آمانت داد.

今朝お茶を2杯飲みました。

امروز صبح دو فنجان چای خوردم.

5. 物の位置関係を示す前置詞



فرهنگ 1 farhang

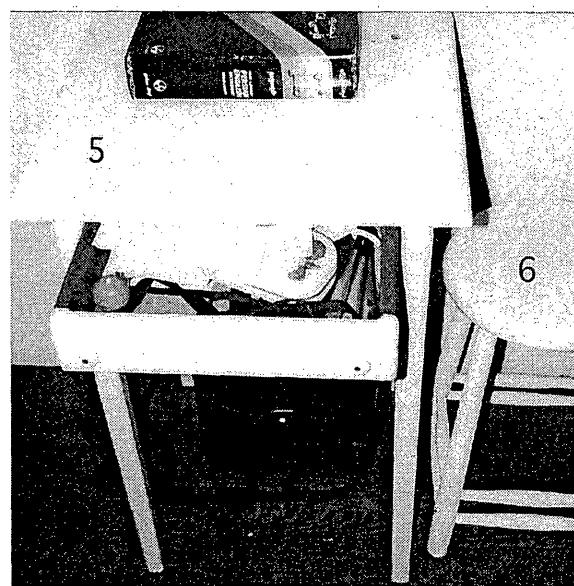
کشو 2 kešou

مدال 3 medāl

کیف 4 kīf

میز 5 mīz

چهارپایه 6 čahārpāye



فرهنگ روی میز است.

مدال بالای میز است.

در/ داخل / توى کشو کاغذ و اسباب بازى و غيره هست.

など va geire
و غيره

玩具 asbāb bāzī
اسباب بازی

کاغذ kāgaz
紙

6. 動詞の活用 (1)

6-1 動詞 **دیدن** 「見る」の活用表

過去語根 : دید	現在語根 : بین	過去分詞 : دیده
I 叙実法		
受動態	能動態	
1. 現在形		
ما دیده می شویم شما دیده می شوید ایشان دیده می شوند	من دیده می شوم تو دیده می شوی او دیده می شود	ما می بینیم شما می بینید ایشان می بینند
2. 未来形		
ما دیده خواهیم شد شما دیده خواهید شد ایشان دیده خواهند شد	من دیده خواهم شد تو دیده خواهی شد او دیده خواهد شد	ما خواهیم دید شما خواهید دید ایشان خواهند دید
3. 単純過去形		
ما دیده شدیم شما دیده شدید ایشان دیده شدند	من دیده شدم تو دیده شدی او دیده شد	ما دیدم شما دیدید ایشان دیدند
4. 過去未完了形		
ما دیده می شدیم شما دیده می شدید ایشان دیده می شدند	من دیده می شدم تو دیده می شدی او دیده می شد	ما می دیدیم شما می دیدید ایشان می دیدند

5. 過去完了形

ما دیده شده بودیم	من دیده شده بودم	ما دیده بودیم	من دیده بودم
شما دیده شده بودید	تو دیده شده بودی	شما دیده بودید	تو دیده بودی
ایشان دیده شده بودند	او دیده شده بودند	ایشان دیده بودند	او دیده بود

6. 現在完了形

ما دیده شده ایم	من دیده شده ام	ما دیده ایم	من دیده ام
شما دیده شده اید	تو دیده شده ای	شما دیده اید	تو دیده ای
ایشان دیده شده اند	او دیده شده است	ایشان دیده اند	او دیده است

II 叙想法

1. 現在形

ما ببینم	من ببینم	ما ببینیم	من ببینم
شما ببینید	تو ببینی	شما ببینید	تو ببینی
ایشان ببینند	او ببیند	ایشان ببینند	او ببیند

2. 過去形

ما دیده باشیم	من دیده باشم	ما دیده باشیم	من دیده باشم
شما دیده باشید	تو دیده باشی	شما دیده باشید	تو دیده باشی
ایشان دیده باشند	او دیده باشد	ایشان دیده باشند	او دیده باشد

III 命令法

شما ببینید تو ببین

6-2 単純過去形

[作り方] 過去語根 + 人称語尾

過去語根：不定形(辞書に出てる形) から語末の ان an を取り去ったもの。

[例] kardan → کرد kard رفت raftan → رفتن raft šodan → شد šod

人称語尾：ام, ید, دید, میم, ایم, اند, اید, دیدن

3複	2複	1複	3单	2单	1单	過去語根	不定形
بودند	بودید	بودیم	بود	بودی	بودم	بود	بودن
کردند	کردید	کردیم	کرد	کردی	کردم	کرد	کردن
							شُدْن
							دیدن
							نوشتَن
							خوانندن
							آمدن
							خَندیدن
							خوابیدن
							رَفْتن
							دادن
							خرَیدن
							فُروختن
							داشتَن
							شَنیدَن

3複	2複	1複	3单	2单	1单	過去語根	不定形
							خواستن
							خوردن
							آوردن
							بردن
							آموختن

否定形： 動詞の前に **نـ** を付ける：

[例]

نبودم، نبودی، نبود، نبودیم، نبودید، نبودند
نکردم، نکردی، نکرد، نکردیم، نکردید، نکردد
單語

dāštan	داشتن	する kardan	する kardan	なる šodan	なる šodan	ある, です būdan	ボドン
xāndan	読む xāndan	来る āmadan	来る āmadan	行く raftan	行く raftan	持っている	持っている
xābīdan	xābīdan	聞く šenīdan	聞く šenīdan	見る dīdan	見る dīdan	書く neveštan	ノウシターン
forūxtan	売る forūxtan	買う xarīdan	買う xarīdan	与える dādan	与える dādan	眠る	マヌル
bordan	持っていく bordan	持ってくる āvardan	持てくれる āvardan	望む xāstan	望む xāstan	خواستن	خواستن
nāme	手紙 nāme	笑う xandīdan	笑う xandīdan	習う／教える āmūxtan	習う／教える āmūxtan	آموختن	آموختن
امروز صبح	今朝 امروز صبح	夕食 šām	夕食 šām	昼食 nāhār	昼食 nāhār	朝食 sobhāne	صبحانه
شیرینی	菓子 širīnī	parande	parande	鳥 پرنده	鳥 پرنده	新聞 rūznāme	روزنامه
دیروز	昨日 dirūz	食べる xordan	食べる xordan	ネズミ mūš	ネズミ mūš	猫 gorbe	گربه
				خوردن	خوردن	モウシ	موش
				پریروز	پریروز	昨夜 dišab	دیشب
				一昨日 parīrūz	一昨日 parīrūz		

練習

- 表の空欄を埋めなさい。

2. ペルシア語になおしなさい。

死ぬ مردن mordan

…時 وقتی که...

(01) 祖父が死んだ時、私はまだ小さかったです。祖父 پدر بزرگ pedar-bozorg

(02) 昨日、私は本を読みました。まだ هنوز hanūz

(03) 父は私に (わ) 鉛筆をくれました。

(04) 弟は大学に (わ) 行きませんでした。

(05) 貴方はいつ 寝ましたか。

バザール بازار bāzār

(06) 彼は母親と (し) バザールに (わ) 行きました。

(07) 姉に (わ) 手紙を書きました。

(08) 鉛筆と (わ) ノートを買いました。

(09) デパートで (از) 椅子を買いました。

デパート فروشگاه forūshgāh

(10) 弟は学校に (わ) 昼食を持っていきました。

学校 مدرسه madrese

(11) 母が私のために家から (از) パンを持って来てくれました。

のために برای barāye

(12) 彼の父親は大きな家っていました。

(13) 兄は先生になりました。

(14) 私は料理をしました。

料理する غذا پختن gázâ poxtan

(15) 昨夜、新聞を読みませんでした。

(16) 男の子と (わ) 女の子がお菓子を買いました。

(17) 息子はお前に (از) 何を欲しがったの。

6-3 現在形

[作り方] می + 現在語根 + 人称語尾

現在語根：過去語根は例外なく不定形から語末の-anを取り除いたものであったが、現在語根はそう簡単ではない。下の表からも明らかな通り、不定形と現在語根の間には形の上でかなり異なった物が少なからず存在する（いくつかのグループに分けることは可能であるが）、不定形と現在語根を対にして覚えることを奨める。

人称語尾：ام, ایم, اد, اید, د, سی, اند, ید, یم, کن, دار, رو, آ, خواندن, نوشتن, بین, شنو, خواب, ده, فروختن, خواستن

過去語根そのものであったが、現在形では現在語根にکن adを付けることに注意。

3複	2複	1複	3单	2单	1单	現在語根	不定形
باشند	باشید	باشیم	باشد	باشی	باشم	باش	بودن
شوند	شَوید	شُویم	شود	شوی	شوم	شو	شُدَن
						کن	گردن
						دار	داشتن
						رو	رفتن
						آ	آمدن
						خوان	خواندن
						نویس	نوشتن
						بین	دیدن
						شنو	شنیدن
						خواب	خوابیدن
						ده	دادن
						فروش	فروختن
						خواه	خواستن

3複	2複	1複	3单	2单	1单	現在語根	不定形
						خور	خوردن
						خر	خریدن
						خند	خندیدن
						آور	آوردن
						بر	بردن
						آموز	آموختن

[注意]

1. **ミ باشم، می باشی می باشد ...** の形は演説や書簡などで改まった場合に用いられ、普通は **هستم، هستی، است ...** の形が用いられる。
2. **داشتمن** は単独で用いられる場合には、現在形に **ミ** を付けないが、複合動詞の場合には付ける。

否定形： **می** の前に **نـ** ne (発音に注意！) を置く。

単語

子供bačče	بچه	疲れるxaste	شدن šodan	خسته شدن	年老いた pīr
肉屋zūd	پر	ペルシア語 zabān-e fārsī	فارسی zabān-e fārsī	友達 dūst	庭 hayat
肉屋 gūšt	گوشت	forūšī	فروشی forūšī	友達 dūst	今夜 emšab
肉屋 gūšt	گوشت	forūšī	قصابی qasābi	肉gūšt	早い/早く
肉屋 gūšt	گوشت	fardā řab	明日fardā řab	豚肉 gūšt-e xūk	豚 xūk
肉屋 gūšt	گوشت	xāndan	休み ta‘til	明朝fardā sobh	明晚 فردا صبح
肉屋 gūšt	گوشت	dars	課外活動 خواندن xāndan	ドウシタダシتن dāštan	勉強する
肉屋 gūšt	گوشت	gāv	牛gāv	魚māhī	好む dūst
肉屋 gūšt	گوشت	gāv	گاو گاو gereftan	マホイ māhī	勉強する
肉屋 gūšt	گوشت	gāv	گرفتن har rūz	毎日 har rūz	牛肉 gūšt-e gāv

練習

1. 上の表の空欄を埋めなさい.

2. ペルシア語になおしなさい.

- (01) 私は良い本を一冊持っています.
- (02) 私の年老いた母は早く疲れます.
- (03) 子供達が庭で遊んでいます.
- (04) 今日私は大学に行きません.
- (05) 今晚 友達が私の家に来ます.
- (06) 弟はペルシア語の本を読んでいます.
- (07) 姉に手紙を書きます.
- (08) お会いできて嬉しいです.
- (09) 今夜は早く寝ます.
- (10) イランの肉屋は豚肉を売りません.
- (11) 明日あなたの本を持ってきます.
- (12) 明晩父と母は家にいません.
- (13) 明朝 大学は休みです.
- (14) この大学の学生達はよく勉強します.
- (15) 猫は魚が好きです.
- (16) 私は牛肉が好きです.
- (17) 弟は毎日父から200円もらいます.
- (18) このレストランのスープは美味しいです.

6-4 現在進行形

何をしているの.

چه کار می کنید؟

ご飯を食べています.

غذا می خورم.

上の例文からも分かるとおり、現在形が現在進行中の行為・状態を表すのにも用いられるが、現在では、特に口語では、動詞 **داشتن** の現在形 + 本動詞の現在形の形も用いられる。

[例] 暗くなりつつある。 havā dārad tārik mīšavad هوا دارد تاریک می شود.

雨が降っている。 dārad bārān mīyāyad دارد باران می آید.

練習

次の文をペルシア語になおしなさい。

01. 犬が肉を食べています.

犬 sag سگ

02. 子供達が遊んでいます.

03. 弟はテレビを見ています.

テレビ televiziyon تلویزیون

04. 妹は友達と(い)話しあ中です.

話す sohbat kardan صحبت کردن

05. 私は食事中です.

06. 息子は勉強中です.

シャワーを浴びる dūš gereftan

07. 娘はシャワーを浴びているところです.

08. 列車は来つつあります.

列車 gatār قطار

09. お姉さんに手紙を書いたの？ 今書いているところだよ.

10. 夕食は食べたの？ 食べているところだよ.

11. 勉強はしたの？ しているところだよ.

7. 形容詞と副詞の比較級・最上級

7-1 比較級

もっと良い本はありませんか.

کتاب بہتری ندارید؟

あの男の子はこの女の子よりも(背が)高いです.

آن پسر از این دختر بلندتر است.

私はあなたよりも早く着きました.

من از شما زودتر رسیدم.

友達は私より多く本を持っています.

دوستم از من بیشتر کتاب دارد.

[解説]

1. 比較級=原級 + تر

原級	کوچک	قشنگ	تازه	بلند	سرد
比較級	کوچکتر	قشنگتر	تازه تر	بلندتر	سردتر

【例外】 بهتر → خوب زیاد → بیشتر

2. 名詞を直接修飾する比較級形容詞の位置：名詞の後ろ。名詞にエザーフェを付ける。

3. 二人の人、二つの物・事を比較する場合、比較される人、物・事の前にازを用いる。日本語の「…より」に相当。

練習 ペルシア語で言いなさい。

(01) あなたの家は私の家よりも大きいです。

(02) わたしの鉛筆はあなたの鉛筆より長いです。

(03) あの女の子は私の娘よりも美しいです。

(04) もっときれいな花を下さい。

きれいな قشنگ

(05) 彼はあなたより早くきました。

(06) 今日は昨日より早く目を覚ました(**بیدار شدم**).

(07) あの男の人は私の父より若い,

(08) この万年筆は彼の万年筆より高い.

(09) 日本では(در)، 牛肉 は豚肉より高い.

7-2 最上級

ハサンは彼の末っ子です.

حسن کوچکترین پسر او است.

日本で最大の町は東京です.

بزرگترین شهر ژاپن توکیو است.

この本は私のどの本よりも良いです.

این کتاب شما از همه کتابهای من بهتر است.

私は誰よりも早く来ました.

من از همه زودتر آمدم.

[解説]

最上級=原級+ **ترين tarin**

原級	کوچک	قشنگ	تازه	بلند	سرد
最上級	کوچکترین	قشنگترین	تازه ترین	بلندترین	سردترین

【例外】 **بهرین** → خوب → زیاد → بیشترین

名詞を直接修飾する最上級形容詞の位置：名詞の前。形容詞と名詞の間にエザーフェは置かない。

形容詞が補語として用いられる場合は **از همه(ی)...ها/ان)...** (何よりも...) の形が用いられる。副詞の場合も同じ。

練習

カッコ内の形容詞を適当な形に変え、文章を完成させなさい。

木 **درخت**

(بلند)

۱. این درخت از آن درخت است.

۲۰. آن کتاب از این کتاب است.

۲۱. خانه شما از خانه ما است.

۲۲. حسن از مریم است.

۲۳. لیمو از همه میوه ها است.

۲۴. یکی از شهرهای جهان پاریس است.

次の文をペルシア語になおしなさい。

有名な mašhūr / مشهور معروف

01. 『ゴレスター』はサアディーの最も有名な作品(آثار)の一つです。

02. このクラスで彼が最も背が高いです。

03. 日本で最も高い山は富士山です。

04. アジアで最も進んだ国は日本です。 進んだ پیشرفته آسیا

05. 日本で最も大きな大学は東京大学です。

高さ بلندی

06. イランで最も高い山はデマーヴァンド山です。 高さは5671メートルです。

07. 日本で最も大きな湖は琵琶湖です。

湖 دریاچه

08. 世界で最も大きな湖はカスピ海です。

カスピ海 دریای خزر

09. イラン人にとって(برای) 最も良い国はイランです。

8. 動詞の活用 (2)

8-1. 未来形

明日大学に来るでしょう。

فردا به دانشگاه خواهیم آمد

明日大学は休みではないでしょう。

فردا دانشگاه تعطیل نخواهد بود.

作り方

動詞 **خواستن** の現在語根 + 人称語尾 + 本動詞の過去語根。

[例] **رفتن** の未来形

خواهم رفت، خواهی رفت، خواهد رفت، خواهیم رفت، خواهید رفت،

خواهند رفت

口語では一般的に未来形の代わりに現在形が用いられる。

練習

1. 下の表の空欄を埋めなさい。

3複	2複	1複	3単	2単	1単	過去語根	不定形
							خواستن
							خوردن
							آوردن
							بردن
							بودن
							کردن
							شنیدن
							دیدن
							آموختن

3複	2複	1複	3单	2单	1单	過去語根	不定形
							نوشتن
							خواندن
							آمدن
							خندیدن
							خوايیدن
							رفتن
							دادن
							خریدن
							فروختن
							داشتن
							شدن

2. 次の文をペルシア語になおしなさい。

01. 明日私は家にいないでしょう。

02. 明晚客(مهمان)があるでしょう (=客を持つでしょう) .

03. 明日雨が降るでしょう。 雨が降る باران آمدن

04. 今晚は曇りでしょう。 曇り آبرى

05. あの学生は将来 (در آينده) 良い医者 (دكتور) になるでしょう。

06. 明日友人は子供と (با) 遊ぶでしょう。

8 – 2 現在完了形

この服は古くなってしまいました。 این لباس گهنه شده است.

今までこの本を読んでいません。 تا حالا این کتاب را نخوانده ام

息子はまだ家に戻っていません。 پسرم هنوز به خانه نیامده است.

作り方： 過去分詞（過去語根 + e + ə + ۱ام، ای، است، ایم، اید، آند）

否定形： 過去分詞の前に نـ を付ける。

3複	2複	1複	3单	2单	1单	過去分子	不定形
						بوده	بودن
						شده	شدن
						کرده	کردن
							دیدن
							نوشتن
							خندیدن
							آمدن
							داشتن
							دادن
							خواهیدن
							خریدن
							رفتن

							فروختن
							خواندن
							خواستن
							خوردن
							آوردن
							بردن
							آموختن

練習

1. 表の空白を埋めなさい.

2. ペルシア語になおしなさい.

01) 今までこんな物を見たことがありません.

今まで : تا بحال / تا حالا :

こんな物 : چنین چیزی

02) まだ仕事 (کار) が終わっていません.

終わる : تمام شدن

03) まだ服を着ていません.

着る : پوشیدن

04) イランに行ったことがありますか.

まだ : هنوز

05) キャビア (خاویار) を食べたことがありません.

06) 息子はまだ寝ていません.

07) 今日はまだ新聞を読んでいません.

図書館 : کتابخانه

08) まだ本を図書館に (به) 返していません.

返す : پس دادن

09) 飛行機 (هوایپما) はまだ着いていません.

8 - 3 過去完了

به خانه دوستم رفتم ولی او بیرون رفته بود
友達の家に行ったが、彼は外出していた。

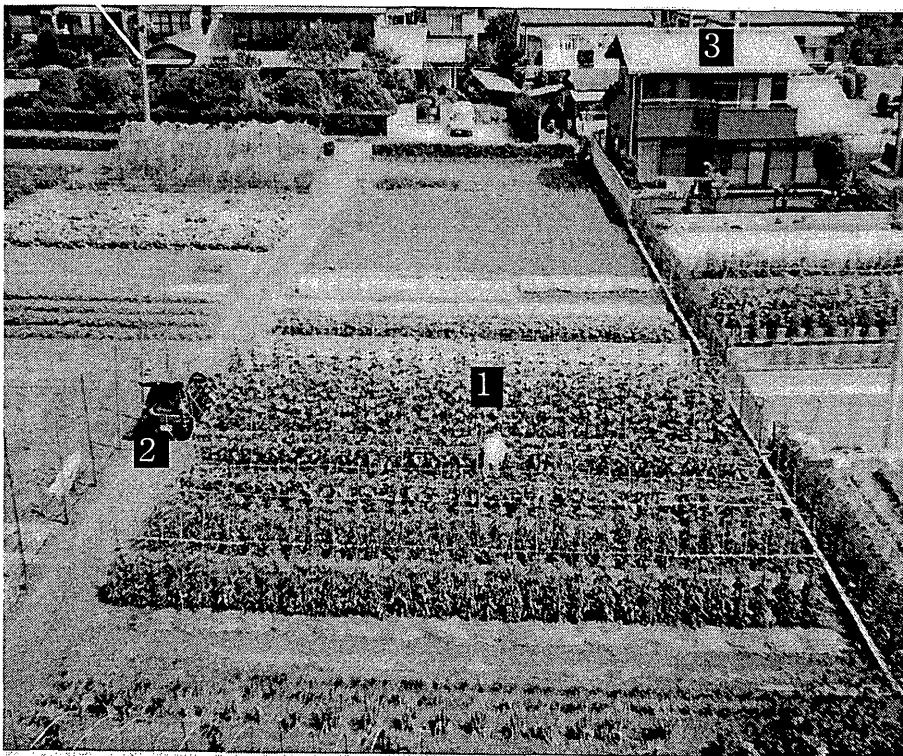
وقتی که به ایستگاه رسیدم قطار حرکت کرده بود.
駅に着いた時、列車は発車してしまっていた。

作り方：過去分詞 + بودم، بودی، بود، بودیم، بودید، بودند

3 複	2 複	1 複	3 単	2 単	1 単	過去分子	不定形
						شده	شدَن
						کرده	کردن
							دیدن
							نوشتَن
							خندیدن
							آمدَن
							داشتَن
							شدَن
							دادَن
							خوابیدَن
							خریدَن
							رفتَن
							فروختَن
							خواندن

							خواستن
							خوردن
							آوردن
							بردن
							آموختن

4



農地 mazra‘e مزرعه

自動車 otomobil/māšin ۲ ماشین / اتومبیل 農民 kešāvarz ۱ کشاورز

電柱 tīr-e barg ۴ تیر برق ۳ خانه کشاورز

8 - 4 命令形

この果物を食べて下さい。	این میوه را بخورید.
この果物を食べて下さい。	از این میوه بخورید.
もっと早く大学に来て下さい。 もっと早く大学に来て下さい。	زودتر به دانشگاه بیایید.
もっと勉強して下さい。	بیشتر درس بخوانید.

作り方

→ + 現在語根, もしくは → + 現在語根 + 二人称複数語尾.

[例]

کردن : ب + کن = بکن / ب + کن + اید = بکنید

否定形 : بـ を نـ に変える.

3複	2複	1複	3単	2単	1単	現在語根	不定形
						باش	بودن
						شو	شُدَن
						کن	کردن
						بین	دیدن
						نویسن	نوشتن
						خند	خندیدن
						خوان	خواندن
						آ	آمدن
						خواب	خوابیدن
						ده	دادن
						فروش	فروختن

3 複	2 複	1 複	3 単	2 単	1 単	現在語根	不定形
						خواه	خواستن
						خر	خریدن
						دار	داشتن
						خور	خوردن
						رو	رفتن
						سنو	شنیدن
						آور	آوردن
						بر	بردن
						آموز	آموختن

練習

1. 上の表の空欄を埋めなさい.
2. 次の文をペルシア語になおしなさい.
 - 1) ここで (اینجا) タバコを吸わないで下さい.
 - 2) あそこに (آنجا) 行かないで下さい.
 - 3) この部屋では遊ばないで下さい.
 - 4) もっと食べて下さい.
 - 5) もっと本を読んでください.
 - 6) 早く寝なさい.
 - 7) 猫に (به) この魚をやりなさい.
 - 8) 明日もう一度 (دو باره) 来て下さい.

9. 数詞

9-1. 基数

صِفْر sefr				
۱ یک yek	۲ دو do	۳ سه se	۴ چهار čahār	۵ پنج panj
۶ شِش šeš	۷ هَفْت haft	۸ هَشْت hašt	۹ نُه noh	۱۰ دَه dah
۱۱ یازده yāz dah	۱۲ دوازده davāz dah	۱۳ سیزده sīzdah	۱۴ چهارده čahārdah	۱۵ پانزده pānz dah
۱۶ شانزده šānz dah	۱۷ هَفْدَه hefdah	۱۸ هَجْدَه hejdah	۱۹ نُوزَدَه nūzdah	۲۰ بیست bīst
۲۱ بیست و یک bīst o yek	۲۲ بیست و دو bīst o do	۲۴ بیست و چهار bīst o čahār	۲۶ بیست و شش bīst o šeš	۲۹ بیست و نه bīst o noh
۳۰ سی sī	۴۰ چهل čehel	۵۰ پنجاه panjāh	۶۰ شَصْت šast	۷۰ هَفْتَاد haftād
۸۰ هَشْتَاد haštād	۹۰ نَوَاد navad	۱۰۰ صَد sad	۱۱۰ صَد و یک sad o yek	۱۱۵ صَد و پانزده sad o pānz dah
۲۰۰ دویست devīst	۳۰۰ سیصد sīsad	۴۰۰ چهار صد čahārsad	۵۰۰ پانصد pānsad	۶۰۰ شَصْد šešad
۷۰۰ هَفْتَصْد haftsad	۸۰۰ هَشْتَصْد haštsad	۹۰۰ نَهْصَد nohsad	۱۰۰۰ هزار hezār	۵,۰۰۰ پنج هزار panjhezār
۱۰,۰۰۰ ده هزار dahhezār	۱۰۰,۰۰۰ صد هزار sadhezār	۱,۰۰۰,۰۰۰ میلیون melyon		

[注] 語順は基数詞+(助数詞)+名詞となる。基数詞のついた名詞は常に単数形。なお、数字は左から右に書く。

最もよく用いられる助数詞には、نَفَر (人) ، تا (個) ، بار [回] ، جلد (冊)がある。靴など対になった物には جُفت を用いる。助数詞にはエザーフェは付けない。

[本 20 冊] بیست جلد کتاب

[お茶 2 杯] دو فنجان چای

[1,2,3,……] یک، دو، سه

[1つ,2つ,3つ……] یکی، دو تا، سه تا

[2, 3 人] دو سه نفر

[幾10人] صد ها نفر [幾100人] ده ها نفر [幾1000人] هزاران نفر

[一等車] واگن درجه یک vāgon-e daraje-ye yek

9-2. 序数

(1) 基数 + م om.

[注] [第1] اول avval, [第2] دوم dovvom [第3] سوم sevvom

[第21] بیست و یکم bīst o yekom [第30] سی ام sī'om

[第4卷] شاگرد اوّل jel'd-e čahārom 「優等生」 šāgerd-e avval

[右から2番目の人] نفر دوم از دست راست

この形の序数詞は形容詞と同じく名詞の後に来、名詞にエザーフェが付く。

(2) 基数 + مین omnīn.

[一番目の] اوّلین avvalīn [2番目の] دومین dovvomīn

[第2回文化芸術祭] دومین جشنواره فرهنگ و هنر dovvomīn jašnvāre-ye farhang o honar

[初めて] اوّلین بار avvalīn bār

この形の序数詞は名詞の前に来る。序数詞と名詞の間にエザーフェは入らない。

9-3. 分数

(1) 分母、分子をそれぞれ基数で言う。 1/5 پنج یک

(2) 分子を基数で言い、分母を序数で言う。 1/5 یک پنجم

١/٢ نیم ١/٤ رُبْع

9-4. パーセント

100パーセント صَدَ درَ صَدَ 10パーセント دَهْ درَ صَدَ، صَدَى دَهْ

9-5. …倍

2倍 دوَ بَرَابرَ 50倍 پِنجاه برابر 100倍 صَدَ برابر

練習

1. 次の数字を読みなさい。

٢١٣٢ ، ٥٤٠٦ ، ٦٥٩٨ ، ٨٩٧٠ ، ٠٨٦٢ ، ٧٩٠٣ ، ٩٥٤١ ، ٨٦٥٢
، ٨٥٠٢ ، ٨٩٥٦ ، ٦٠٤٥ ، ٢٣١٢ ، ٢٦٨٠ ، ٣٠٩٧ ، ١٤٥٩ ، ٢٥٦٨
٩٩٦ ، ٦٤٣٨٧

2. 次の文章をペルシア語で言いなさい。

(01) 私は鉛筆を4本持っています.

ご飯を食べる غذا خوردن

(02) 妹は靴 (کفش kafš) を3足持っています.

(03) この部屋には (در) 何人の学生がいますか.

(04) あなたは日に (روزی) 何度 (چند بار) ご飯を食べますか.

(05) 私たちには2本の手と (و) 2本の足があります.

(06) 昨日、デパートで (از) 肉を半キロ (کیلو kilo) 買いました.

(07) 筐 (سبد) に (در) リンゴ (سیب) が5つあります.

(08) 彼らには息子が2人と (و) 娘が1人あります.

10 時刻の表し方

今、何時ですか。 **حالا ساعت چند است؟** hālā sā'at čand ast.

9時6分です。 **ساعت نه و شش دقیقه است.** sā'at-e noh o šeš dagīge ast.

10時15分です。 **ساعت ده و ربع است.** sā'at-e dah o rob' ast.

11時25分です。 **ساعت یازده و بیست و پنج دقیقه است.** sā'at-e yāzdhā o bīst o panj dagīge ast.

6時半です。 **ساعت شش و نیم است.** sā'at-e šeš o nīm ast.

8時23分前です。 **بیست و سه دقیقه (مانده) به هشت است.** bīst o se dagīge (mānde) be hašt ast.

3時15分前です。 **یک ربع (مانده) به سه است.** yek rob' (mānde) be se ast.

単語

秒 **ثانیه** sāniye 分 **دقیقه** dagīge 時 **ساعت** sā'at 正午 **ظهر** zohr

午前 **قبل از ظهر** gabl az zohr / pīš az zohr 午後 **بعد از ظهر** šab

ba'd az zohr 朝 **صبح** sobh 夕方 **عصر** 'asr 夜 **شب** šab

今 **حالا** hālā

1時間 **یک ساعت** : と1時 の相違に注意！

練習 次の文章をペルシア語で言いなさい。

01 今朝、7時に起きました。 **起きる** بیدار شدن

02 8時に朝食(صبحانه)を食べました。

03 9時半に大学に(**پ**)着きました。

04 2時間勉強しました。

05 きっかけ正午に昼食を食べました。

きっかけ درست / سر

11. 動詞の活用 (3)

11-1 叙想法現在

作り方 **ب** (be) + 現在語根 + 人称語尾

用法 不確定要素を持つ現在・未来の活動に関して義務・願望・可能・仮定・を表すのに用いられる。

[例]

او باید ساعت پنج اینجا بیاید.

彼は5時にここに来なければならぬ/来るはずだ

او می بایست ساعت پنج اینجا بیاید.

彼は5時にここに来なければならなかつた。

نماید اینجا بازی کنی.

明日旅行に行くかもしだれ。

شاید فردا به سفر بروم.

彼等は多分明日こないでしょ。

شاید آنها فردا نیایند.

大学で彼に会えます。

شما می توانید او را در دانشگاه بیینید.

大学で彼に会えました。

شما می توانستید او را در دانشگاه بیینید.

彼は英語がしゃべれません。

او نمی تواند انگلیسی صحبت کند.

彼は英語がしゃべれませんでした。

او نمی توانست انگلیسی صحبت کند.

彼は木から落ちる可能性がある。

او ممکن است از درخت بیافتد.

彼は木から落ちる可能性があつた。

او ممکن بود از درخت بیافتد.

彼の言葉が理解できる可能性はない。

ممکن نیست حرف او را بفهمید.

می خواهم برای شما یک داستان تعریف کنم.

あなたに一つお話をあげたい。

می خواستم برای شما یک داستان تعریف کنم.

あなたに一つお話をあげたかつた。

اگر فردا بیائید او را می بینید.

もし明日来れば彼に会います。

اگر آنها نرونده شما بروید.

もし彼等が行かなければ、あなたが行きなさい。

شاید تا یک ساعت دیگر اینجا باشم.

多分後1時間はここにいるだろう。

作り方 過去分詞 + 動詞 **بودن** の叙想法現在形.

用法 不確定要素を持つ過去の活動に関して義務・願望・可能・仮定・
を表すのに用いられる。

[例]

شاید دیشب از سفر آمده باشد.

多分彼は昨夜旅から戻っただろう。

شاید او را هفته گذشته دیده باشیم.

多分私たちは先週彼に会っただろう。

امیدوارم مارا فراموش نکرده باشید.

私たちのことをお忘れになつていないように。

ما باید او را دوست داشته باشیم.

我々は彼を好かねばならない。

او باید دو سال در آنجا زندگی کرده باشد.

彼は2年間そこで生活したに違いない。

شاید تکلیفهایش را انجام نداده باشد.

多分彼は宿題をやっていないだろう。

شما باید سال گذشته آنجا بوده باشید.

あなたは昨年そこにいたに違いない。

آیا ممکن است حالا از آنجا رفته باشد؟

彼が今そこを出た可能性がありますか。

ممکن نیست این کار را آنها کرده باشند.

彼等がこれをしたこととはあり得ない。

فرض کن او را دستگیر کرده باشند.

彼が逮捕されたと想像してご覧なさい。

امسال باید محصولات کشاورزی خوب شده باشد.

今年は農産物の収穫が良くなつたに違いない。

احتمال دارد جاده بسته شده باشد.

道が閉鎖されているかもしれない。

اگر خوب درس خوانده باشد از امتحان قبول می شود.

もしよく勉強したのならば,試験に受かります。

اگر تکلیفهایش را خوب انجام داده باشد معلم به او نمره خوب خواهد داد.

もし彼が宿題を良くやつたのならば,先生は彼にいい点をくれるだろう。

彼の父親は戦争で殺された。 پدر او در جنگ کشته شد.

机の上にコンピューターが置かれています。 روی میز کامپیوتر گذاشته شده است.

この椅子は木でできています。 این صندلی از چوب ساخته شده است.

作り方： 動詞の過去分詞 + **شدن** の各時制, 人称.

否定形： 動詞の活用部分の前に **نه** na / ne を付ける.

行為者が分かっている時には、行為者を主語とした能動文が用いられる.

また、 **او را کشتند.** のように主語なしで動詞の三人称複数形を用いて、受動態の意味を表す。 آنها او را کشتند. 「彼らが（は）彼を殺した」という意味になる。

كردن を含む複合動詞を受動態にするには **شدن** を **كردن** に変える。

練習 次の能動文を受動文に変えなさい。

お金	بول
食べ物	غذا
分ける	تقسیم کردن
パーティー	مهمانی
知らせ	خبر
授業	درس
終える	تمام کردن
試験	امتحان
拒否する／試験で落とす	
招待する	

۱. این کتاب را برای او خواندم.
۲. یک نامه برای او نوشتند.
۳. این پول را به او دادند.
۴. آنها او را فراموش می کنند.
۵. غذاهارا تقسیم کردند.
۶. ما را به مهمانی دعوت نکردند.
۷. این خبر را خواهند شنید.
۸. درس را ساعت دو تمام می کنیم.
۹. آنها را از امتحان رد کردند.
۱۰. غذا را خیلی زود خوردند.

13 接続詞

よく用いられる接続詞とその用例

و そして

گل قشنگ و خوش بو من و شما 私とあなた
به ایران رفتم و چهار سال آنجا ماندم.

イランに行って、4年そこに滞在しました。

يا あるいは

به ایران بروم يا به ترکيه؟ お茶かコーヒーか چای يا قهوه
か、トルコに行こうか。

ولی، اما しかし

من گربه دوست دارم ولی / اما / همسرم دوست ندارد.

私は猫が好きだが、家内は好きではない。

زیرا (که) / چون (که)ので

چون دندانم درد می کند، نمی توانم شکلات بخورم.
نمی توانم شکلات بخورم زیرا دندانم درد می کند.

歯が痛いので、チョコレートが食べられません。

بلکه

1. 否定文 肯定文ではなく.....である

این کتاب نیست بلکه آلبوم عکس است.

これは本ではなく、写真アルバムです。

2. かもしれない

منتظر می شوم بلکه بیاید.

彼が来るかもしれないから待ちます。

3. ... بلکهだけでなく、その上.....

نه تنها پول نگرفت، بلکه چیزی هم داد.

彼はお金を受け取らないだけではなく、何かあげさえした。

هم...همも.....も

هم خوب غذا می خورد هم خوب می می نوشد. او سالم است.

彼は食べ物もよく食べるし、酒もよく飲む。彼は健康だ。

نه اشتها دارد نه خوابش عميق است. نگرانم مريض بشود.

食欲もなければ、眠りも深くない。彼が病気になるのではと心配だ。

که

1. 名詞節・形容詞節を導く。形容詞節を導く場合には、形容される名詞に(i)を付ける。

از دوستم شنیدم که مایل هستید به ایران سفر کنید.

イランに旅行する意向と友人から聞きました。

نمی دانم که کی و کی این خبر را به شما رسانده.

いつ、誰がこの情報をあなたに伝えたのか私には分かりません。

آن دختر کوچکی که در حیاط بازی می کند دوست پسرم است.

庭で遊んでいる小さな女の子は息子の友達です。

خانمهایی که در این کلاس هستند هم قشنگند و هم زرنگند.

この教室にいる女性達は美しくもあり、賢くもある。

لطفاً کتابم را که دیروز به شما امانت دادم پس بدهید.

昨日貸してあげた私の本を返して下さい。

طاس ماهی که از آن خاویار بدست می آید در دریای خزر زندگی می کند.

キャヴィアの取れるタースマーハー（チョウザメの一種）はカスピ海に生息する。

『私の知っているイラン』

«ایرانی که من شناخته ام»

2. 二つの文章を一つにまとめる。

ژاپن که وطنم است بیش از صد و بیست میلیون جمعیت دارد. = ژاپن وطنم است و

بیش از صد و بیست میلیون جمعیت دارد.

日本は私の祖国であるが、1億2000万以上の人口がある。

من و حمید و ناصر که همکلاس هستیم صبحها با هم به مدرسه می رویم. = من و

حمید و ناصر همکلاس هستیم و صبحها با هم به مدرسه می رویم.

僕とハミードとナーセルは同級生で、朝、一緒に学校に行く。

3. だから(چون)

تو که پسر هستی نباید گریه کنی. = چون تو پسر هستی نباید گریه کنی.
お前は男の子なんだから、泣いちゃいけない。

4. ~する時

تعطیلات تابستان که شروع شد به ایران می روم. = وقتی که تعطیلات تابستان شروع شد به ایران می روم.

夏休みが始まったら、イランに行きます。

تا

1.まで

تا ناهارتان را تمام کنید در کتابخانه صبر می کنم.
あなたが昼食を終えるまで図書館で待っています。

2. ~するために

این روزها پسرم خیلی جدی درس می خواند تا در امتحان نمره خوبی بگیرد.
最近息子は試験でいい点を取ろうととても真剣に勉強しています。

3. 一 しないうちは~しない

تا این کار را تمام نکنم لب به چیزی نمی زنم.
この仕事を終えないうちは何も口にしない。

4. 一 しなさい、そうすれば ~

با دقت این مقاله را بخوانید تا بفهمید چرا شاه از ایران رفت.
この論文を注意深く読みなさい、そうすればシャーがなぜイランから出たかわかります。

برای اینکه ~のために

برای اینکه بعداً پشیمان نشوید حالا خوب فکر کنید.

後で後悔しないように今よく考えなさい。

مبادا けつして~しないように

در جنگل زیاد گرگ هست. ممبادا آنجا بروی.

森には狼が一杯いる。決してそこには行かないように。

چنانکه ～のとおり

چنانکه خودتان هم خوب می دانید هوای تهران خیلی آلوده شده است.
あなた御自身もご存知の通りテヘランの空気は非常に汚染されています。

از بس که あまり～ので

وقتی که بچه بودم خرمالو دوست داشتم ولی از بس که خوردم اکنون از آن متنفرم.
子供だった時、柿が好きだったが、食べ過ぎて現在は嫌いだ。

با اینکه にもかかわらず

با اینکه چندین بار تذگر دادم او به دریا رفت و غرق شد.
何度も注意を促したにもかかわらず、彼は海に行って溺れた。

اگرچه たとえ…でも

اگرچه باهوش هم باشید بدون تمرین نمی توانید فارسی یاد بگیرید.
例え頭が良くても、練習なしでペルシア語は覚えられません。

هر چه すればするほど

هر چه بیشتر بخوانید دانش شما بیشتر می شود.
読めば読むほどあなたの知識は増えます。

بدون اینکه …することなく、～

بدون اینکه از من اجازه بگیرد از خودنویسم استفاده کرد.
私の許可を得ることなく、彼は私の万年筆を使った。

بعای اینکه …かわりに

بعای اینکه به سینما برویم در تلویزیون مسابقه فوتبال را تماشا کنیم.
映画に行く代わりに、テレビでサッカーの試合を見よう。

14 条件文

条件文における条件節中の動詞の形と帰結節中の動詞の形

条件節	帰結節
叙実法過去形	叙実法現在形/未来形
過去進行形	過去進行形/過去完了形
過去完了形	過去進行形/過去完了形
叙想法過去形	叙実法現在形/未来形
叙実法現在形	叙実法現在形
叙想法現在形	叙実法現在形/未来形

[例]

اگر باران بیآید به خانه شما خواهم آمد . . .

もし晴天ならばプールに行きます。 اگر هوا آفتابی باشد به استخر می روم.

اگر خسته هستید من هم در خانه می مانم.

もしあなたが疲れているのならば,私も家に残ります。

よければ明日私たちの家に来て下さい。 اگر دوست داری فردا به منزل ما بیائید.

اگر به دیدن مادرم آمدی کتاب مرا بیاورید .

もし母に会いに来たら,私の本を持って来て下さい。

اگر دیروز می آمدی باهم به سینما می رفتهیم.

もし昨日来ていたら一緒に映画館に行ったのに。

اگر روزی دو ساعت درس خوانده بودند، قبول می شدند.

もし日に2時間勉強していれば受かっていたのに。

اگر به خدا ایمان داشته باشید، هیچ وقت نامید نخواهد شد.

もし神を信じていれば決して失望することはないでしょう。

اگر نشانی او را بدانم، شاید برایش یک نامه بنویسم.

もし彼の住所を知れば,多分かれに手紙を書くだろう。

گرچه کتاب را نخوانده باشند، باید اسمش را شنیده باشند.

たとえその本を読んでいなくとも，その名前は聞いているに違いない。

گرچه زبان فارسی نمی داند، می تواند یاد بگیرد.

たとえペルシア語を知らなくても，覚えることはできる。



1	قوری	2	سماور	3	شیر سماور	4	قهوة جوش	5	سینی
	quri		samāvar		shir-e samāvar		gahve-jūš		sīnī
6	دسته سماور	7	دسته قهوة جوش						
	daste ye samāvar		daste ye gahve-jūš						

次の間に答えなさい。

- ۱ قوری کجا گذاشته شده است؟
- ۲ سماور کجاست؟
- ۳ شیر سماور برای چیست؟
- ۴ سینی کجاست؟
- ۵ قهوة جوش برای چیست؟

III. 講 読

آقا و مستخدم

آقا : سلام. آمدم.

مستخدم : خسته نباشید، آقا.

آقا : در غیبیتم کسی نیامد؟

مستخدم : چرا، آمد.

آقا : کی آمد؟

مستخدم : حسن

آقا : کدام حسن؟

مستخدم : حسن کتاب فروش.

آقا : کی آمد؟

مستخدم : نیم ساعت پیش.

آقا : چکار داشت؟

مستخدم : کتاب آورد.

آقا : چند تا آورد؟

مستخدم : فقط یک جلد «تاریخ معاصر ایران» را.

آقا : آن را از او خواسته بودم. قیمتش چقدر است؟

مستخدم : نمی دانم. فقط گفت که آن را به شما بدهم.

آقا : آنرا کجا گذاشتید؟

مستخدم : روی میز مطالعه شما گذاشتم.

آقا : خیلی خوب. کسی تلفن نکرد؟

مستخدم : چرا. یک نفر از دانشگاه تلفن کرد.

آقا : کی بود؟

مستخدم : نفهمیدم. همینکه گفتم «آقا نیستند.»، طرف گوشی را گذاشت.

آقا : لطفاً چای بیاورید.

خود را معرفی کردن

اسم من عادلۀ سعیدزاده است.
ایرانی هستم.
در سال ۱۳۲۷ شمسی برابر با ۱۹۴۸ میلادی در
تبریز متولد شده ام.
دوره دبستان و دبیرستان را در شهر تبریز
گذراندم.

سپس، در سال ۱۳۴۶ (۱۹۶۷) وارد دانشگاه

تبریز شدم و در سال ۱۳۵۰ (۱۹۷۱) از آن دانشگاه فارغ التحصیل شدم. رشته تحصیلی من فلسفه و منطق است.

و در همین سال در اداره آموزش و پرورش بندر آنزَلِ استِخدام شدم و به تدریس پرداختم.

و در سال ۱۳۵۲ (۱۹۷۳) به ترکیه رفتم و در دانشگاه استانبول در دوره دکتری تاریخ معاصر ایران ثبت نام کردم و مدت چهار سال به تحصیل پرداختم و پس از انقلاب اسلامی به ایران برگشتم.

چون به شغل معلمند بودم دوباره در آموزش و پرورش به کار خود ادامه دادم. مدت ده سال دبیرستانهای رشت بودم.

در سال ۱۳۷۰ (۱۹۹۱) به تهران منتقل شدم و در حال حاضر دبیر آموزش و پرورش منطقه دو تهران هستم.



معرفی کردن دوست خود

مژگان : نیلوفر خانم، اجازه بدھید دوستم شعله را به شما معرفی کنم.

شعله : سلام نیلوفر خانم. شعله هستم.

نیلوفر : سلام از دیدن شما خیلی خوشحالم.

حال شما چطور است؟

شعله : خوب هستم، شما چطورید؟

نیلوفر : من هم خوبم متشکرم.

مژگان جان همیشه از شما تعریف می کرد خیلی مشتاق دیدار تان بودم.

شما کجا کار می کنید؟

شعله : در بانک ملی، شما چطور؟

نیلوفر : من معلم کلاس اول دستان هستم.

شعله : چه خوب!

نیلوفر : از دیدن شما خیلی خوشحال شدم.

شعله : من هم همچنین، امیدوارم شما را دوباره ببینم خدا حافظ.

نیلوفر : خدا حافظ به امید دیدار.

در رستوران

گارسن : خیلی خوش آمدید. چی میل دارید؟ امروز برای شام خورشت فسنجان، چلوکباب برگ، چلوکباب کوبیده با کباب بلغاری، خورشت قیمه و قورمه سبزی داریم.

سیما : من چلوکباب کوبیده با کباب بلغاری می خورم.

موریتا : من هم خورشت فسنجان می خورم که تا حالا نخورده ام.

گارسن : اگر ماست و سالاد میل دارید، لطفاً از روی میز بردارید.

سیما : من ماست می خورم.

موریتا : من سالاد و ماست موسیر می خورم.

گارسن : بفرمائید، از خودتان پذیرایی کنید.

سیما : غذاهای اینجا تازه است. اغلب جهان گردان خارجی برای صرف غذا و شنیدن موسیقی سنتی ایران به این رستوران می آیند.

موریتا : فضای سالن هم بسیار جالب است.

گارسن : بفرمائید این هم غذاهای مورد نظر شما.

سیما : خیلی ممنون.

موریتا : متشرکرم.

موریتا : سیما خانم اگر ممکن است بفرمائید یک تکه نان بیاورند همراه با دوغ.

سیما : آقا.

گارسن : بله، بفرمائید.

سیما : لطفاً کمی نان و یک لیوان دوغ بیاورید.

گارسن : چشم. خانم.

موریتا : اگر نان سنگک باشد بهتر است.

گارسن : متأسفانه نان سنگک نداریم. نان لواش و یا بَرَبَری کدام را میل دارید؟

موریتا : لطفاً لواش بیاورید.

گارسن : چشم.

موریتا : چقدر غذاهای این رستوران خوشمزه است.
سیما : درست است. چون همیشه از گوشت تازه و برنج صدری دم سیاه استفاده می کنند.

موریتا : خوب شد به این رستوران آمدیم. حتماً یک بار دیگر با دوستان ژاپنی خود به این رستوران خواهم آمد.

سیما : خوشحال می شوم من هم باشم تا با دوستان شما آشنا شوم.
موریتا : حتماً.

سیما : خُب موریتا جان اگر مایلید برویم.

موریتا : بسیار خوب برویم. آقا، لطفاً صورت حساب.

مادر، من گرسنه ام!

احمد : مادر من گرسنه ام. لطفاً غذارا بیار.

مادر : چند دقیقه صبر کن!

پرویز : امروز ناهار چی داریم؟

مادر : چلو مرغ.

مریم : مادر من چلو کباب دوست دارم. فردا لطفاً چلو کباب درست کن.

حسن : من ماکارونی دوست دارم. امشب ماکارونی بپز!

احمد : پدر کی می آید؟ من گرسنه ام.

مادر : همین حالا می آید.

مریم : زنگ زدند. پدر آمد. احمد در را باز کن!

مادر : مریم بیا سفره را بیر!

حسن : من چی بیرم؟

پرویز : تو بشقاب هارا بیار.

پدر : نه بشقاب هارا نیاور! تو قاشق ها و چنگال هارا بیار!

پرویز : احمد توهם کمک کن قدری آب بیار.

پرسش ها

۱ احمد به مادرش چی گفت؟

۲ مادر چه جواب داد؟

۳ مریم چه غذائی را دوست داشت؟

۴ حسن چه غذائی را دوست داشت؟

۵ امروز ناهار شما چی خوردید؟

۶ آیا شما با قاشق و چنگال غذا می خورید؟

مکالمهٔ تلفنی

مژگان چند روزی با دوستان خود به مسافرت رفته بود. عصر سه شنبه از مسافرت برگشت. وقتی به خانه رسید و داشت لباس هایش را عوض می کرد، یک مرتبه تلفن زنگ زد. گوشی را برداشت.

«آلو. بفرمایید.»

پرسش علی از دانشگاه زنگ می زد.

علی : مادر، سلام. برگشتی؟

مادر : بله عزیزم.

علی : خوش گذشت؟

مادر : بله خیلی خوب بود جای تو و مریم خیلی خالی بود.

علی : مادر خیلی به موقع آمدی.

مادر : مگر چه خبر است؟

علی : فردا شب سیامک و ناهید عروسی می کنند.

مادر : جدی می گوئی؟

علی : بله، پریروز عقدشان بود و فردا شب هم عروسی می کنند.

مادر : خیلی خبر خوشی بود پسرم. عصر می بینمت.

علی : خدا حافظ مادر.

مادر : خدا حافظ علی جان.

۱ - مژگان چه موقع از مسافرت برگشت؟

۲ - وقتی به خانه رسید کی زنگ زد؟

۳ - علی پسر کی هست؟

۴ - علی از کجا داشت زنگ می زد؟

۵ - چرا علی به مادرش گفت «مادر به موقع آمدی.»؟

خانواده ما

ما یک خانواده چهار نفری هستیم. من مادر بچه ها و خانم خانه هستم. اسم من مریم است. اسم شوهرم محمد است. او استاد دانشگاه است. دخترم مهناز سیزده ساله و پسرم احمد هفده ساله است. مهناز در کلاس سوم راهنمائی و احمد در سال آخر دبیرستان درس می خوانند. دخترم در بیستم فروردین ماه و پسرم در هفدهم آبان ماه متولد شده اند.

جمعه روز تولد دخترم بود. من و پدر و برادرش هدیه ای خریدیم و روز تولد مهناز را جشن گرفتیم. مهناز در این روز خیلی خوشحال بود. پسرم این روزها سخت مشغول مطالعه است. او خود را برای ورود به دانشگاه آماده می کند. او به رشته جامعه شناسی علاقه دارد. می خواهد به عنوان جامعه شناس درباره کشورهای در حال توسعه به تحقیق پردازد. من و پدرش او را تشویق می کنیم تا در رشته مورد نظر خود موفق شود.

خانهٔ ما

خانهٔ ما قدیمی و کهن است.

درها و پنجره‌های خانهٔ ما تمیز است.

خانهٔ ما یک حیاط بزرگ دارد.

در وسط حیاط یک باغچه قرار دارد.

پدرم هر سال در باغچه سبزی و گل‌های قشنگ می‌کارد.

در حیاط خانهٔ ما یک گربهٔ سفید زیبا زندگی می‌کند.

حسن برادر کوچک این گربهٔ سفید کوچک را خیلی دوست دارد.

او به این گربه غذا می‌دهد و با آن بازی می‌کند.

حسن و پدرم این خانهٔ قدیمی را دوست دارند.

مادرم و خواهرم این خانهٔ قدیمی را دوست ندارند.

پرسشها:

۱ - خانهٔ ما چطور است؟

۲ - آیا خانهٔ شما هم قدیمی است؟

۳ - آیا حیاط خانهٔ ما کوچک است؟

۴ - آیا درها و پنجره‌های خانهٔ شما تمیز است؟

۵ - آیا درها و پنجره‌های خانهٔ ما کثیف است؟

۶ - باغچهٔ خانهٔ ما در کجا قرار دارد؟

۷ - پدرم در باغچه چی می‌کارد؟

۸ - کی به گربهٔ کوچک غذا می‌دهد؟

۹ - چرا حسن خانهٔ قدیمی را دوست دارد؟

۱۰ - چرا پدر خانهٔ قدیمی را دوست دارد؟

۱۱ - آیا مادر و خواهرم خانهٔ قدیمی را دوست دارند؟

خانه جدید ما

ما فردا به یک خانه جدید خواهیم رفت.
خانه جدید ما یک آپارتمان در طبقه سوم است.
این آپارتمان را آقای جمالی برای ما پیدا کرد.
آقای جمالی نزدیک خانه ما بنگاه معاملات ملکی دارد.
حالا باربرها اثاثیه ها را به خانه جدید می برنند.
پدرم موافق نبود خانه قدیمی ما را بفروشد و آپارتمان بخرد اما مادرم و مریم او را به
این کار راضی کردند.
مریم و احمد خیلی خوشحالند چون آنها در آپارتمان جدید یک اتاق دارند.
حسن خوشحال نیست چون آپارتمان حیاط ندارد.
پدر می گوید : آپارتمان مثل قفس است.
من آپارتمان را دوست ندارم اما مادر خوشحال است چون آپارتمان ما یک آشپزخانه
بزرگ دارد.

سؤالات :

- ۱ - ما فردا به کجا خواهیم رفت؟
- ۲ - خانه جدید ما در طبقه چندم است؟
- ۳ - آقای جمالی چه کاره است؟
- ۴ - باربرها چه کار می کنند.
- ۵ - مریم و احمد چرا خوشحالند؟
- ۶ - چرا مادر خوشحال است؟
- ۷ - چرا حسن خوشحال نیست؟
- ۸ - چرا پدر آپارتمان را دوست ندارد؟
- ۹ - آیا شما آپارتمان را دوست دارید؟

من و حمید

من و حمید همکلاس هستیم.

خانهٔ ما نزدیک به هم است.

حمید هر روز که به مدرسه می‌رود، زنگ خانهٔ ما را می‌زند تا باهم به مدرسه برویم. وقتی که زنگ خانه به صدا در می‌آید، مادرم مرا صدا می‌کند و می‌گوید: «احمد زود باش، عجله کن حمید آمد.»

در راه مدرسه درس‌ها را مرور می‌کنیم.

اغلب، معلم درس تاریخ را در راه می‌بینیم. من این معلم مان را بیشتر از معلم‌های دیگر دوست دارم.

چون ایشان خیلی خوش اخلاق هستند و هر وقت که به سؤالشان درست جواب می‌دهیم می‌گوید: «آفرین، خیلی خوب بود.»

سؤالات

۱. آیا حمید با احمد همسایه است؟

۲. آیا حمید هر روز که به مدرسه می‌رود زنگ خانهٔ احمد را به صدا در می‌آورد؟

۳. وقتی حمید زنگ در را می‌زند مادر احمد چه می‌گوید؟

۴. احمد و حمید در راه مدرسه چه می‌کنند؟

۵. احمد و حمید بیشتر وقت‌ها چه کسی را در راه می‌بینند؟

۶. آیا احمد معلم تاریخ شان را دوست دارد؟

۷. معلم تاریخ هر وقت درس می‌پرسد چه می‌گوید؟

۸. آیا شما هم معلم زبان فارسی خود را دوست دارید؟

من و ناصر

دیروز ناصر را در میدان آزادی دیدم. او به اداره می‌رفت. ناصر از دوستان قدیم من است. من و ناصر در دبیرستان همکلاس بودیم. او به ورزش خیلی علاقه داشت. هر روز عصر، بعد از تمام شدن درس فوتبال بازی می‌کرد. ناصر خوب درس نمی‌خواند. او دوره دبیرستان را یک سال دیرتر تمام کرد. بعد از دبیرستان در اداره پست استخدام شد. در سالهای گذشته من و ناصر هر روز باهم به دبیرستان می‌رفتیم. در تعطیلات تابستان ناصر معمولاً به باشگاه می‌رفت و فوتبال و والیبال و تنیس بازی می‌کرد.

ناصر از دوستان صمیمی من است. در تابستان گذشته هر هفته به دیدار او می‌رفتم و گاهی درباره خاطرات گذشته صحبت می‌کردیم.

۱. من و ناصر در کجا همکلاس بودیم؟
۲. ناصر به چی خیلی علاقه داشت؟
۳. ناصر هر روز عصر چکار می‌کرد؟
۴. در تعطیلات تابستان ناصر چکار می‌کرد؟
۵. ناصر در کجا استخدام شد؟
۶. من کی به دیدار ناصر می‌رفتم؟
۷. من و ناصر درباره چه صحبت می‌کردیم؟
۸. ناصر را دیروز کجا دیدم؟
۹. ناصر دیروز به کجا می‌رفت؟

روزهای هفته

هفته	週
دو شنبه	日曜日
پنج شنبه	水曜日
سه شنبه	火曜日
جمعه	金曜日

یک هفته هفت روز دارد. شنبه، یک شنبه، دو شنبه، سه شنبه، چهار شنبه، پنج شنبه و جمعه.

شنبه: در ایران شنبه اولین روز هفته است. تمام اداره‌ها، مدرسه‌ها، دانشگاه‌ها و فروشگاه‌ها باز می‌شوند و از اولین ساعت‌های صبح خیابان‌ها شلوغ می‌شود و مردم سعی می‌کنند در سر ساعت شروع کار در محل کار خود حاضر شوند.

یک شنبه

دوّمین روز هفته روز یک شنبه است مثل روز شنبه اداره‌ها و مدرسه‌ها و فروشگاه‌ها و دانشگاه‌ها باز است و مردم به فعالیت روزانه خود ادامه می‌دهند.

اما من در این روز سر کار نمی‌روم. چون روز تعطیلی من است. در این روز به کارهای خانه می‌رسم، خرید می‌کنم، آشپزی می‌کنم. عبادت می‌کنم، و برای دیدار از دوستانم به خانه آنها می‌روم.

دو شنبه: سومین روز هفته روز دو شنبه است. فعالیت مردم مثل روزهای شنبه و یک شنبه از اول صبح شروع می‌شود. من نیز به مدرسه می‌روم. تا ساعت پنج تدریس می‌کنم و بعد از برگشت به خانه به کارهای خانه می‌رسم و شام می‌پزم و منتظر می‌مانم تا همسر و بچه‌هایم به خانه برگردند.

سه شنبه: چهارمین روز هفته، روز سه شنبه است مثل روزهای دیگر هفته مردم مشغول کارهای روزانه خود هستند. خانم‌های خانه دار مثل روزهای قبل برای خرید به بازار می‌روند. همه جا شلوغ است و مردم در رفت و آمد هستند.

چهار شنبه : پنجمین روز از روزهای هفته است. مردم به کسب و کار مشغول هستند. تمام اداره‌ها و مدرسه‌ها و فروشگاه‌ها باز است. اداره‌ها ساعت چهار بعد از ظهر تعطیل می‌شود. مغازه‌ها تا دیر وقت باز است. مردم وقتی به خانه‌های خود بر می‌گردند چون خسته هستند به استراحت می‌پردازند و تلویزیون تماشا می‌کنند.

پنج شنبه ششمین روز هفته است. دانشگاه‌ها و وزارت خانه‌ها و بعضی از اداره‌ها در این روز تعطیل هستند. اما فروشگاه‌ها باز است. مردم روز پنج شنبه را بیشتر از روزهای دیگر دوست دارند. چون وقت بیشتری برای خرید و گردش دارند. اغلب خانواده‌های ایرانی در شب‌های پنج شنبه هر هفته برای دیدن دوستان و آشنایان به منزل همدیگر می‌روند.

جمعه : جمعه هفتمین و آخرین روز هفته است. در ایران روز جمعه تعطیل رسمی است. فروشگاه‌ها، اداره‌ها تعطیل است. بیشتر مردم ایران در روز جمعه برای شرکت در نماز جمعه به مسجد می‌روند.
در ایران روز جمعه روز استراحت، عبادت و دیدار از اقوام و آشنایان است.

تقویم سال

هر سال به چهار فصل و دوازده ماه تقسیم می شود. اسامی فصل ها عبارتند از بهار، تابستان، پائیز و زمستان. اسامی ماه های ایرانی عبارتند از فروردین - اردیبهشت - خرداد که فصل بهار است. تیر - مرداد - شهریور که فصل تابستان است. مهر - آبان - آذر که فصل پائیز است. دی - بهمن - اسفند که فصل زمستان است.

فصل بهار

در بهار هوا کم گرم می شود. در بهار درختها پر از برگ و شکوفه می شوند. در بهار درختها میوه می دهند و در این فصل کشاورزان بیشتر کار می کنند. فروردین و اردیبهشت و خرداد ماه های فصل بهار است. عید نوروز، روز اول بهار است.

فصل تابستان

در تابستان هوا گرم است و بسیاری از میوه ها می رسند. تیر و مرداد و شهریور ماه های فصل تابستان است. در فصل تابستان مراکز آموزشی تعطیل است.

فصل پائیز

در پائیز هوا کم کم سرد می شود. برگ درخت ها زرد می شود. مهر و آبان و آذر ماه های فصل پائیز است.

فصل زمستان

در زمستان هوا سرد است. در بیشتر مناطق ایران برف می بارد. دی، بهمن، اسفند ماه های فصل زمستان است.

سؤالات

- ۱ - در زمستان هوا چطور است؟
- ۲ - در تابستان هوا چطور است؟

- ۳ - در کدام فصل درختها پر از برگ و شکوفه می شود؟
- ۴ - آیا در کدام فصل میوه ها می رسند؟
- ۵ - کی برگ درخت ها زرد می شود؟
- ۶ - آیا در بهار هوا گرم است؟
- ۷ - آیا در تابستان هوا سرد است؟
- ۸ - یک سال چند فصل دارد.

اسامی ماهها (سال ۱۳۷۸ هجری شمسی برابر با ۱۹۹۹ میلادی)

۳۱	۴/۲۰-۳/۲۱	فروردین	۱
۳۱	۵/۲۱-۴/۲۱	اردیبهشت	۲
۳۱	۶/۲۱-۵/۲۲	خرداد	۳
۳۱	۷/۲۲-۶/۲۲	تیر	۴
۳۱	۸/۲۲-۷/۲۳	مرداد	۵
۳۱	۹/۲۲-۸/۲۳	شهریور	۶
۳۰	۱۰/۲۲-۹/۲۳	مهر	۷
۳۰	۱۱/۲۱-۲۰/۲۳	آبان	۸
۳۰	۱۲/۲۱-۱۱/۲۲	آذر	۹
۳۰	۱/۲۰-۱۲/۲۲	دی	۱۰
۳۰	۲/۱۹-۱/۲۱	بهمن	۱۱
۲۹	۳/۱۹-۲/۲۰	اسفند	۱۲

تابستان

فصل تابستان در تهران هوا گرم است.
مدرسه ها و دانشگاهها در تابستان تعطیل است.
نادر دوستم پریروز به شیراز مسافرت کرد.
هوای شیراز از هوای تهران گرمتر است.
دیروز از دوستم علی نامه ای داشتم.
علی دانشجو نیست. او معلم است.
علی بیست و سه سال دارد. من بیست سال دارم.
علی سه سال از من بزرگتر است.
علی با پدر و مادرش در اصفهان زندگی می کند.
هوای اصفهان از هوای تهران خنکتر است.
اصفهان در دوره سلسله صفوی پایتخت ایران بود.
در اصفهان آثار تاریخی وجود دارد.
اصفهان یکی از قدیمی ترین شهرهای ایران است.

- ۱ - کی هوای تهران گرم است؟
- ۲ - در ایران کی مدرسه ها و دانشگاهها تعطیل است؟
- ۳ - نادر به کجا مسافرت کرد؟
- ۴ - علی چند سال دارد؟
- ۵ - علی از کی بزرگتر است؟
- ۶ - آیا هوای تهران از هوای اصفهان خنکتر است؟
- ۷ - اصفهان در چه دوره ای پایتخت ایران بود؟
- ۸ - آیا اصفهان از شهرهای جدید ایران است؟
- ۹ - در اصفهان چی وجود دارد؟

نوروز

یکی از عید های مهم ایرانیان عید نوروز است.
زمستان تمام می شود و روزهای زیبای بهار فرا می رسد.
درختان برگ و شکوفه می دهند. همراه با این همه زیبائی عید نوروز هم فرا می رسد.
ما ایرانیها اولین روزهای زیبای بهار را جشن می گیریم.

بدیدار دوستان و خویشان و بستگان خود می رویم، و فرا رسیدن عید نوروز را به
همدیگر تبریک می گوئیم.

در عید نوروز اداره ها یک هفته تعطیل است ولی مراکز آموزشی از جمله مدرسه ها و
دانشگاه ها سیزده روز تعطیل است.

یکی دیگر از عید های ایرانیان عید مبعث می باشد.
عید مبعث روزی است که حضرت محمد (ص) به پیامبری برگزیده شد.
از عیدهای دیگر عید قربان و عید غدیر و عید فطر را باید نام برد که در همه این
روزها تعطیل رسمی است.

از روزهای تعطیلی دیگر که در ایران جشن می گیرند روز بیست و دوم بهمن سالگرد
انقلاب اسلامی و دیگر روزدوازدهم بهمن یعنی روز ورود امام خمینی (رهبر کبیر
انقلاب اسلامی) به ایران می باشد.

سرزمین ایران

سرزمین ایران در جنوب غربی قاره آسیا واقع شده است.

کشور های مجاور ایران در شمال آذربایجان، روسیه و ترکمنستان، در شرق افغانستان و پاکستان و در غرب عراق است.

دریای خزر در شمال و دریای عمان و خلیج فارس در جنوب این کشور قرار دارد. پایتخت این کشور تهران با جمعیّت بیش از دوازده میلیون نفر از پر جمعیّت ترین شهرهای دنیا محسوب می شود.

کوه دماوند با دورنمای زیبای خود جلوه خاصی به این شهر داده است. کشور ایران به بیست و هشت استان تقسیم شده است و هر استان ویژگی خود را دارد. برای مثال، استان خراسان که مرکز آن شهر مشهد است به دلیل این که مرقد امام رضا (ع) (امام هشتم شیعیان) در این شهر واقع است به این شهر مشهد مقدس می گویند و در طول سال مردم از سراسر کشور برای زیارت بارگاه امام رضا (ع) به این شهر مسافت می کنند.

در حقیقت شهر مشهد یک شهر توریستی (گردش گری) به شمار می رود. استان فارس که مرکز آن شیراز است با وجود آرامگاه سعدی و حافظ دو شاعر نامدار ایران و تخت جمشید در نزدیکی این شهر و باغ های عطر آگین یکی از شهرهای زیبا و گردش گری ایران است که همه ساله مورد توجه گردش گران می باشد. این شهر در تعطیلات عید نوروز بسیار شلوغ می شود.

استان های آذربایجان شرقی و آذربایجان غربی و اردبیل به دلیل داشتن آب و هوای خوب و آثار باستانی و چشمه ها و باغهای فراوان از جمله استان های دیدنی ایران است. آرامگاه شیخ صفی الدین و شاه اسماعیل در شهر اردبیل که مرکز استان اردبیل می باشد قرار دارد.

استان های گیلان و مازندران از زیباترین استان های ایران است. به دلیل داشتن آب و هوای خوب و معتدل به این دو استان لقب همیشه بهار را داده اند. این دو استان با

داشتن برج زارهای وسیع ، باغ های چای و جنگل های سرسبز و رودخانه های خروشان و مناظر دلفریب کرانه های دریای خزر (دریای مازندران) و شهرهای زیبا از گردشگاه های مردم ایران است که در طول سال مردم برای گردش و استراحت به این دو استان مسافرت می کنند. مرکز استان گیلان رشت و مرکز استان مازندران ساری است. اگر در فصل بهار به این استان ها مسافرت کنید بوی بهار نارنج را احساس می کنید.

استان های کرمانشاه و کردستان و ایلام در غرب ایران واقع شده اند. این استان ها زمستان بسیار سرد و تابستان گرم دارد. این استان ها در جنگ ایران و عراق صدمات زیاد دید. اما امروز از جمله آبادترین استان های ایران محسوب می شود. در استان کرمانشاه آثار باستانی بیشتری از دوره قبل از اسلام وجود دارد. استان های جنوب ایران آب و هوای بسیار گرم و مرطوب دارد مثل هرمزگان و بوشهر، در اغلب فصول سال گرم است.

استان اصفهان که در مرکز ایران قرار دارد از استان های بسیار زیبای ایران است. شهر اصفهان که در دوره صفویه پایتخت ایران بوده است با داشتن بناهای تاریخی و آثار هنری مورد توجه گردشگران است. رودخانه زاینده رود که از وسط شهر رد می شود به شهر اصفهان زیبایی خاصی داده است.

اصفهان را به خاطر زیبایی هایش «نصف جهان» لقب داده اند.

از استان های دیگر ایران می توان از قم، سیستان، بلوچستان، خوزستان، لرستان، کرمان، همدان، زنجان، قزوین، چهار محال بختیاری، کهگیلویه، بلوچستان، همدان و سنندج نام برد که هر کدام با داشتن آب و هوای آداب و رسوم متفاوت ویژگی خاص خود را دارد.

در کشور ایران در یک زمان چهار فصل بهار، تابستان، پاییز و زمستان را می توان مشاهده کرد.

از شهرهای ایران می توان از تبریز، اصفهان، مشهد، کرمان، تبریز، نیشابور، بابل، بندر انزلی، ارومیه، رامسر، نوشهر، چالوس و کرج نام برد.

نظام آموزش در ایران

نظام آموزش در ایران به صورت زیر می باشد.

۱. پیش دبستان یا دوره آمادگی :

کودکانی که پا به سن شش سالگی می گذارند وارد دوره آمادگی می شوند تا برای تحصیل در دوره دبستان آماده شوند. در این دوره کودکان با هم دیگر بازی می کنند، نقاشی می کنند و سرود یاد می گیرند، کاردستی می سازند.

۲. دوره دبستان :

کودکان پس از گذراندن دوره آمادگی، در دبستان اسم نویسی می کنند تا تحصیلات خود را عملًا شروع کنند. دوره دبستان در ایران پنج سال است.

۳. دوره راهنمائی :

دانش آموزان پس از پنج سال تحصیل وارد دوره راهنمائی می شوند که مدت آن سه سال است. دانش آموزان پس از گذراندن دوره راهنمائی در امتحان نهائی شرکت می کنند. پس از موفق شدن در امتحان وارد دوره دبیرستان می شوند.

۴. دوره دبیرستان :

دانش آموزان پس از یک سال تحصیل در دبیرستان و گذراندن دروس عمومی، با توجه به استعداد، علاقه و نمرات دروس عمومی در یکی از رشته های ریاضی فیزیک، تجربی، علوم انسانی و کار و دانش نام نویسی می کنند. نظام آموزش در دوره دبیرستان به صورت واحدی است.

۵. دوره پیش دانشگاهی :

دانش آموزان پس از گذراندن واحد های دوره دبیرستان مدرک دیپلم می گیرند. کسانی که علاقه مند به ادامه تحصیل در دانشگاه باشند وارد دوره پیش دانشگاهی می شوند که پس از گذراندن واحد های این دوره در آزمون سراسری دانشگاه ها شرکت می کنند.

علاوه بر مدارس دولتی، مدارس غیر انتفاعی نیز وجود دارد که بودجه این گونه

مدارس با دریافت شهریه از دانش آموزان تأمین می شود.

۶. دوره دانشگاهی :

داوطلبان ورود به دانشگاه باید در آزمون سراسری دانشگاه ها شرکت کنند در صورت کسب امتیاز بیشتر وارد دانشگاه می شوند. نظام آموزش در دانشگاه واحدی است.

دوره کارشناسی (لیسانس) چهار سال است.

کارشناسی ارشد (فوق لیسانس) و دکترا، مراحل بعدی تحصیلات تکمیلی دانشگاهی است. تحصیلات در دانشگاه های دولتی رایگان است.

۷. دانشگاه آزاد اسلامی ایران :

در کنار دانشگاه های دولتی، دانشگاه آزاد اسلامی که دانشگاه غیردولتی است در مقاطع فوق دیپلم، کارشناسی، کارشناسی ارشد، دکترا دانشجو می پذیرد. بودجه دانشگاه آزاد اسلامی با دریافت شهریه از دانشجویان تأمین می شود.

۸. دانشگاه پیام نور :

آموزش از راه دور نظام آموزشی جدیدی است که در ایران توفیق چشمگیری داشته است. دانشگاه پیام نور با نظام آموزش از راه دور در رشته های علوم پایه و علوم انسانی در مقطع کارشناسی دانشجو می پذیرد. دانشکده برون مرزی دانشگاه پیام نور با نظام آموزش از راه دور در مقاطع کارشناسی و کارشناسی ارشد از علاقه مندان مقیم خارج از کشور (ایرانی و غیر ایرانی) در رشته ادبیات فارسی دانشجو می پذیرد.

حقیقتهایی درباره ایران

اول دین ایرانی ها زرده‌شی بود. بعد از حمله عرب ایرانی ها مسلمان شدند. اسلام چند مذهب مختلف دارد. گروهی از ایرانی ها زرده‌شی هستند. گروهی هم مسیحی و کلیمی می باشند. از هر صد نفر ایرانی ۹۸ نفر مسلمان هستند. از هر صد نفر ۹۳ نفر شیعه هستند.

در قدیم حکومت ایران استبدادی بود و همه قدرتها در دست شاه بود. مردم از آن وضع راضی نبودند. بعد حکومت ایران مشروطه شد. ایران پادشاه و دو مجلس داشت. نماینده ها چهار سال به چهار سال انتخاب می شدند.

در سال ۱۳۵۷ شمسی شاه از ایران رفت و حکومت ایران عوض شد. حالا حکومت ایران جمهوری اسلامی است. ایران مجلس شورای اسلامی و مجلس خبرگان و شورای نگهبان دارد. ایران یک رهبر، یک رئیس جمهوری و یک هیأت وزیران دارد.

پرچم ملی ایران سه رنگ است. رنگ سفید در وسط و بالا و پائین آن سبز و سرخ است. و آرم جمهوری اسلامی ایران «الله» در وسط قرار دارد.

نفت ایران خیلی مهم است. ایران صادر کننده نفت است. ایرانی ها از قدیم نفت را می شناختند. در قدیم برای روشنایی و جنگ از آن استفاده می کردند. همه جای ایران نفت دارد. نفت خوزستان از همه مهمتر است. ایران چند پالایشگاه دارد. این پالایشگاه ها در آبادان، کرمانشاه و تهران است. شیراز و تبریز و اصفهان هم پالایشگاه دارد.

- ۱ ایرانی ها از کی مسلمان شدند؟
- ۲ چند در صد ایرانی ها مسلمان هستند؟
- ۳ در قدیم حکومت ایران چی بود؟
- ۴ در زمان مشروطه ایران چند مجلس داشت؟
- ۵ نماینده های مجلس چند سال به چند سال انتخاب می شدند؟

مسافرت به اصفهان

هفته‌گذشته دو روز تعطیل بود. یعنی روز تولّد حضرت محمد (ص) و روز جمعه. دانشجویان از چند روز پیش باهم قرار گذاشته بودند که این دو روز را در اصفهان بگذرانند و از آثار تاریخی این شهر بازدید کنند. استاد باستان‌شناسی به آنها گفته بود که اصفهان یک شهر قدیمی است و آثار تاریخی بسیار جالبی دارد.

روز چهار شنبه هر کدام از دانشجویان نهصد تومان به سیامک دادند تا برای آنها بلیط اتوبوس بخرد. سیامک به شرکت ایران پیما رفت و سیزده بلیط دو سره برای خود و دوستانش خرید.

ساعت شش پنج شنبه اتوبوس آماده بود، با مسافران خود به طرف اصفهان حرکت کرد. در اتوبوس، بعضی دانشجوها روزنامه و مجله می‌خواندند. بعضی با دوستانشان صحبت می‌کردند. احمد یک جعبه بزرگ شیرینی با خودش آورده بود که سر آن را باز کرد و به سیامک داد تا بین دانشجویان تقسیم کند. سیامک جعبه را گرفت و شیرینی‌ها را به دانشجوها و مسافرهای دیگر و راننده تعارف کرد. ساعت هشت راننده، رادیوی اتوبوس را روشن کرد. موسیقی ایرانی داشت. همه به موسیقی گوش دادند. در حدود ساعت ده اتوبوس به شهر کوچکی رسید. اسم این شهر آباده بود. مسافرها پیاده شدند و برای خوردن چای به یک قهوه خانه بزرگ و تمیز رفتند. ده دقیقه بعد، اتوبوس دو باره به راه افتاد. دو ساعت بعد مسافران به شهر کوچکی رسیدند که اسمش شهرضا بود. اتوبوس در شهرضا توقف نکرد و فقط برای سوخت گیری در پمپ بنزین نگهداشت.

ساعت دو بعد از ظهر بود که اتوبوس وارد شهر اصفهان شد. خیابانهای زیبای شهر که درختان زیادی داشت برای دانشجویان خیلی جالب بود. همه خوشحال بودند و انتظار داشتند در شهر بزرگ و قدیمی اصفهان به آنها خیلی خوش بگذرد.

سرگذشت یک نامه

من یک ورق کاغذ سفید بودم.
روی من چیزی نوشته نشده بود و با کاغذهای سفید دیگر فرقی نداشت.
بهروز مرا برداشت و روی من مطالبی برای دوستش سعید نوشت. حال او را پرسید و
درباره زندگی و درس و دوستانشان با او حرف زد.
آن گاه مرا با دقیقت تا کرد و در پاکت گذاشت.
در پاکت را چسباند و بعد از نوشن نشانی و چسباندن تمبر، پاکت را در صندوق
پست انداخت.
حالا دیگر من یک ورق کاغذ سفید و ساده نبودم من به صورت نامه ای درآمده بودم
که پیغام بهروز را برای سعید می برد.

۱ چه کسی کاغذ سفید را برداشت؟
۲ مطالب را برای چه کسی نوشت?
۳ بهروز روی ورق کاغذ سفید چی به دوستش نوشت?
۴ این داستان از زبان کیست؟

باغ انار

اصغر پسر عمومی اکرم و امین است.

پدر اصغر باغبان است. او یک باغ انار دارد. باغ هر سال مقدار زیادی میوه می دهد. پدر اصغر در آبیاری و سمپاشی درخت ها به پدرش کمک می کند. وقتی که میوه ها می رسد، اصغر و پدرش میوه ها را می چینند. بعد آنها را برای فروش به شهر می فرستند.

آنها وقتی که میوه را می چینند، مواطن هستند که تیغ به دستشان نرود. چون بعضی از درخت ها تیغ دارند.

- ۱ اصغر پسر عمومی کی است؟
- ۲ پدر اصغر چه کاره است؟
- ۳ پدر اصغر چه باغی دارد؟
- ۴ اصغر برای پدر چه کمکی می کند؟
- ۵ اصغر و پدرش میوه ها را برای فروش به کجا می برند؟
- ۶ آنها وقتی میوه ها را می چینند چرا از دست هایشان مواطن است می کنند؟

همکاری

اسم پدر اکرم و امین، گریم است. مجید و کریم و اکبر با هم کار می کنند. مجید بنا است. او دیوارها و سقف خانه ها را می سازد.

کریم نجار است. او درها و پنجره های خانه را از چوب می سازد. اکبر هم نقاش است. او در و پنجره و دیوارهای خانه را رنگ می زند. این سه نفر در ساختن خانه با یکدیگر همکاری می کنند.

- ۱ اسم پدر اکرم و امین چیست؟
- ۲ مجید چه کاره است؟
- ۳ مجید چی می سازد؟
- ۴ کریم چه کاره است؟
- ۵ کریم در و پنجره خانه را از چی می سازد؟
- ۶ اکبر چه کاره است؟
- ۷ این سه نفر در ساختن خانه با هم چه کار می کنند؟

سیب های گاز زده

پدر احمد از احمد خواست که به بازار برود و مقداری سیب شیرین بخرد.
احمد ساعتی بعد با یک سبد سیب برگشت.
پدر احمد وقتی سبد سیب را نگاه کرد دید همه سیب ها گاز زده است.
عصبانی شد و گفت «اینها که همه گاز زده اند! این چه خریدی است که کردی .»
احمد لبخند زد و گفت « پدر جان اگر گاز نمی زدم نمی توانستم بفهمم که شیرین
هستند یا نه. »

سؤالات

- ۱ پدر احمد از احمد چی خواست؟
- ۲ چرا پدر احمد عصبانی شد؟
- ۳ چرا احمد سیب ها را گاز زده بود؟
- ۴ پدر احمد وقتی سبد سیب را نگاه کرد چی دید؟

چوپان دروغگو

چوپانی گاه گاهی به دروغ فریاد می کرد. «گرگ آمد! گرگ آمد!» مردم برای نجات دادن چوپان و گوسفندان به سوی او می دویدند، اما چوپان می خندهد و مردم می فهمیدند که دروغ گفته است.
از قضا روزی گرگی به گله زد.
چوپان فریاد کرد و کمک خواست.
مردم گمان کردند که باز دروغ می گوید.
هرچه فریاد زد هیچ کس به کمک او نرفت.
چوپان دروغگو تنها ماند و گرگ گوسفندان او را درید.

سوالات

- ۱ دروغ چوپان چه بود؟
- ۲ مردم برای نجات چوپان چه می کردند؟
- ۳ چرا مردم دیگر به فریاد چوپان توجه نمی کردند؟

طبیب شدن نقاش

نقاشی به شهری رفت و آنجا پیشہ طبابت آغاز کرد. بعد چند روز شخصی از وطن او، در آن شهر رسید و او را دید و پرسید که حالا چه پیشه می کنی؟ گفت : طبابت. پرسید : چرا؟ گفت : از برای آنکه اگر در این پیشه تقصیری می کنم، خاک آن را می پوشد.

پرسش

- ۱ - نقاش در شهر چه کاری آغاز کرد؟
- ۲ - بعد از چند روز چه کسی نقاش را دید؟
- ۳ - چه سؤالی از نقاش کرد؟
- ۴ - نقاش چه جوابی داد؟

حکایت

شخصی خطّی می نوشت. مردی بیگانه نزد او نشست و طرف خطّ می دید آن شخص در خطّ نوشت که مردی بیگانه و احمق نزد من نشسته است و خطّ را می خواند، از این سبب هیچ راز نمی نویسم. آن مرد گفت مرا احمق می پنداری، چرا راز نمی نویسی؟ من خطّ تو نخوانده ام. نویسنده گفت: اگر خطّ من نخواندی، چگونه معلوم کردی که چنین نوشته ام؟

پرسش

- ۱ - چه کسی پیش آن شخص نشسته بود؟
- ۲ - نویسنده خطّ در خطّ چی نوشت؟
- ۳ - مرد به نویسنده خطّ چی گفت؟
- ۴ - نویسنده چه جواب داد؟

عینک سواد نمی آورد

مردی سواد نداشت. یکی را دیده بود که وقت خواندن عینک می گذارد. گمان کرد، هر که عینک بگذارد می تواند بخواند. پیش عینک فروش رفت و عینک خواست. هر عینکی را که به چشمش گذاشت نتوانست بخواند. صاحب دکان فهمید و گفت «نمی دانم آیا به مدرسه رفته ای و خواندن را یاد گرفته ای!» آن مرد جواب داد اگر می توانست بخوانم برای چه عینک می خریدم؟» نمی دانست عینک مرد بی سواد را با سواد نمی کند، بلکه برای چشمها ضعیف است.

۱. مرد پیش چه کسی رفت؟
۲. چرا آن مرد نمی توانست بخواند؟
۳. مرد به عینک فروش چه جوابی داد؟
۴. عینک برای چیست؟

فروشنده و خریدار

گویند در عهد انوشیروان [از پادشاهان سلسله ساسانی] کسی سرای خرید و در آن سرای گنجی یافت. فروشنده خبردار شد، دعوی کرد و گفت «گنج پدر من نهاده است و من سرای فروختم و گنج نفروختم.» خریدار گفت «من سرای را با آنچه در آن است خریده ام.» نزاع پیش نوشیروان برداشت. گفت شما را فرزند هست؟ فروشنده گفت من پسری دارم. خریدار گفت من دختری دارم. انوشیروان گفت «بروید پسر و دختر نکاح بندید و گنج به ایشان دهید.»

پرسش

- ۱ - انوشیروان چه کسی بود؟
- ۲ - در عهد انوشیروان چه اتفاقی افتاد؟
- ۳ - فروشنده از چی خبردار شد؟
- ۴ - برای شکایت پیش چه کسی رفتند؟
- ۵ - انوشیروان چه جوابی داد؟

امیر و فقیر

روزی امیری بر میخ تیر می انداخت. تیر اندازان بسیار آنجا حاضر بودند. تیر کسی بر میخ نمی رسید. فقیری آنجا رفت و از امیر چیزی سؤال کرد. امیر تیر و کمان خود را در دست فقیر داد و فرمود: «میخ را بزن.» فقیر تیر بر میخ پرتاب کرد، اتفاقاً بزد. امیر بسیار خوشحال گردید و هزار دینار به فقیر بخشید و رخصت داد. فقیر به امیر گفت: «سؤال کردم، هیچ نیافتم. امیر روی درهم کشید و گفت: «هزار دینار به تو بخشیده ام، می گوئی هیچ نیافتم. این چه سخن است؟» فقیر گفت: «هزار دینار میخ زده گرفتم و از سؤال چه یافتم؟» امیر خندید و انعام دیگر هم بخشید.

پرسش

۱. امیر چه می انداخت؟
۲. امیر تیر و کمان را به دست چه کسی داد؟
۳. امیر چرا خوشحال شد؟
۴. فقیر چکار کرد؟

حکایت

در شهری انبار پنبه به دزدی رفت. پنبه فروشان شکایت به پادشاه برداشت. پادشاه هر چند که تجسس فرمود، دزدان را نیافت. امیری عرض کرد که اگر فرمان باشد دزدان را بگیرم. پادشاه حکم داد. امیر به خانه رفت و خرد و بزرگ شهر را به بهانه ضیافت طلبید. چون همه مردمان جمع شدند و نشستند، امیر در آن مجلس رفت و بر روی همه مردم نظر کرد و گفت: چه حرامزاده و احمق مردمان اند که پنبه را دزدیده اند و ریزه های پنبه در ریشهای ایشان جا کرده است و هم بر آن حال در مجلس من آمده اند. چند کس همان وقت ریشهای خود را از دست پاک کردند و معلوم شد که آنها دزدان اند. پادشاه بر حکمت امیر آفرین و تحسین نمود.

- ۱ - در شهر چه چیزی دزدیده شده بود؟
- ۲ - پنبه فروشان شکایت به کی برداشت؟
- ۳ - پادشاه برای یافتن دزدان چه فرمان داد؟
- ۴ - امیر در مجلس ضیافت چی گفت؟
- ۵ - چرا بعضی از مهمانان ریش خود را پاک کردند؟
- ۶ - پادشاه چرا بر حکمت امیر آفرین گفت؟

انوشیروان و معلم

انوشیروان معلمی داشت که در ایام کودکی او را تعلیم می‌داد. یک روز معلم بدون تقصیر او را تنبیه نمود، انوشیروان از این عمل خشمگین شد و موضوع را همچنان در خاطر خود نگهداشت تا وقتی که به مرتبه سلطنت و پادشاهی رسید، روزی آن معلم را به حضور طلبید و از او پرسید:

«در ایامی که به تعلیم من پرداختی چه عاملی سبب شد که مرا بی گناه آزار و اذیت کنی و فرمان به سیاست و تنبیه من دهی؟»

معلم گفت: «ای پادشاه، چون می‌دانستم که بعد از پدر به رتبه شاهی خواهی رسید. خواستم که طعم ظلم را به تو بچشانم تا در ایام سلطنت اقدام به ظلم ننمائی و نسبت به مردم عدل و انصاف را پیشه کنی.»

انوشیروان چون این سخن را شنید او را تحسین بسیار نمود و دستور داد تا خلعتی به او دادند و بر احترامش افزودند.

پرسش:

۱. انوشیروان کی بود؟
۲. چرا معلم بدون تقصیر انوشیروان را تنبیه کرد؟
۳. انوشیروان وقتی که به پادشاهی رسید چرا آن معلم را به حضور طلبید و به او چه گفت؟
۴. معلم به انوشیروان چه جوابی داد؟

مِلیکا خانم

مِلیکا خانم مادرِ سیاوش زن پاکیزه و با سلیقه است.
او سطل شیر را همیشه در جای خشک نگاه می دارد.
روی سطل پارچه ای می اندازد تا گرد و خاک بر آن ننشینند و پاکیزه بماند.
مِلیکا خانم هر روز از شیر چیزی درست می کند.
گاهی به آن مایه پنیر می زند و پنیر درست می کند.
گاهی مایه ماست می زند و ماست می بند و گاهی از ماست کره می گیرد.
روزی عده ای، سرزده، به خانه آنها آمدند. مِلیکا خانم با تخم مرغ نیمرو درست کرد.
نان و کره و ماست هم سرِ سفره گذاشت.
همه از مهمان نوازی و سلیقه مِلیکا خانم تعریف کردند.
وقتی آنها سیر شدند خدا را شکر کردند که این همه نعمت‌های خوب آفریده است.

- ۱ مِلیکا خانم مادر چه کسی است؟
- ۲ چرا باید ظرف شیر را در جای خشک نگه داشت؟
- ۳ چرا روی سطل پارچه می اندازند؟
- ۴ مِلیکا خانم از شیر چه چیزهایی درست می کرد؟
- ۵ وقتی عده ای سرزده به خانه مِلیکا خانم آمدند او چه چیزهایی سرِ سفره گذاشت؟
- ۶ وقتی مهمانها سیر شدند چی گفتند؟

روبا و کلاغ

کلاغی تکه ای پنیر دید، آن را برداشت و به سوی درخت بلندی پرواز کرد. روباهی او را دید و تصمیم گرفت آن پنیر را به دست بیاورد.

روبا به زیر درخت آمد و شروع به تملق گفتن از کلاغ کرد. او از زیر درخت فریاد زد «به به چه پرنده زیبایی! چه پرهای برآقی! اگر صدایت هم به زیبایی پرهایت باشد، سزاوار است که ترا شاه پرنده‌گان بخوانند» کلاغ از حرفهای روباه بسیار خوشحال شد و دهانش را باز کرد تا غار غار کند. اما همین که دهانش را باز کرد، تکه پنیر از دهان او به زیر درخت افتاد. روباه حیله گر آن را برداشت و به سرعت فرار کرد.

پرسش:

- ۱ - کلاغ چه دید؟
- ۲ - کلاغ به کجا پرواز کرد؟
- ۳ - چرا روباه از کلاغ تملق گفت؟
- ۴ - روباه چطور از کلاغ تملق گفت؟
- ۵ - چرا کلاغ دهانش را باز کرد؟
- ۶ - پرهای کلاغ چه رنگ است؟
- ۷ - آیا کلاغ پرنده زیبایی است؟
- ۸ - آیا کلاغ پرنده حیله گری است؟
- ۹ - آیا روباه حیله گری است؟
- ۱۰ - چرا کلاغ از حرفهای روباه خوشحال شد؟

سلطان و هیچ

پیرمردی در راه به جوان فقیری که در کمال ذلت در گوشۀ دیوار خزیده بود برخورد و از دیدن وضع او متأثر شد و در کنار او نشست و پس از آنکه احوال او را پرسید گفت : «پسرم قدر جوانی خود را بدان و دنبال کسبی برو تا اینکه مالی به دست آوری.»

جوان گفت : «پس از آنکه مال به دست آوردم چه می شود؟»

فرمود : «تاجر می شوی.»

گفت : «پس از آنکه تاجر شدم چه می شود؟»

فرمود : «در بین مردم معروف می گردد!»

گفت : «پس از آن چه می شوم؟»

فرمود : «ممکن است شغلی و عنوانی در ادارات پیدا کنی و پول بی زحمتی به دست آوری.»

پرسید : «بعد چه می شوم؟»

فرمود : «ممکن است به مقام حکومتی نائل گردد.»

پرسید : «بعد چه می شوم؟»

فرمود : «به مقام وزارت نائل می گردد.»

پرسید : «بعد چه می شوم؟»

گفت : «رئیس دولت و رئیس وزراء می گردد!»

پرسید : «بعد چه می شوم؟»

فرمود : «ممکن است سلطان بشوی!»

گفت : «بعد از آنکه سلطان شدم چه می شوم؟»

فرمود : «هیچی.»

جوان گفت : «من اکنون هیچی هستم. پس چرا آنقدر زحمت بکشم تا باز هیچی شوم!»

گنج کشاورز

کشاورز پیری سه پسر داشت. پسران او هیچ کاری انجام نمی دادند و عمرشان را بیهوده می گذراندند. کشاورز از این بابت خیلی نگران بود. وقتی که کشاورز در بستر مرگ افتاد، پسرانش را پیش خود خواند و به آنان گفت. «فرزندان من باید راز مهمی را به شما بگویم. در ملکی که برای شما به ارث می گذارم، گنج بزرگی در زیر زمین پنهان است.» پسران کشاورز با خوشحالی فریاد زدند «آن گنج کجاست» کشاورز پیر گفت من جای آن را درست نمی دانم. شما باید برای یافتن آن همه مزرعه را بکنید. کشاورز بعد از گفتن این سخن درگذشت.

بعد از مرگ پدر، پسران به امید یافتن گنج با بیل و کلنگ شروع به کار کردند و خاک همه ملک زیر و رو کردند. اما گنجی پیدا نکردند، زمین را کاشتند و به امید محصول آن نشستند. وقتی که زمان برداشت محصول فرا رسید، محصول خیلی زیاد بود، زیرا آنان به امید یافتن گنج زمین را خیلی خوب شخم کرده بودند. پسران کشاورز از فروش محصول خود پول زیادی به دست آوردند، آن وقت بود که فهمیدند منظور پدر خردمند شان از گنج پنهان، کار و کوشش بوده است.

سؤالات

- ۱ - کشاورز پیر چند پسر داشت؟
- ۲ - کشاورز چرا نگران پسرانش بود؟
- ۳ - وقتی کشاورز در بستر مرگ افتاد به پسران خود چه گفت؟
- ۴ - پسران کشاورز با خوشحالی فریاد زدند و چی گفته‌اند؟
- ۵ - بعد از مرگ پدر، پسران به امید یافتن گنج چکار کردند؟
- ۶ - وقتی گنجی در ملک خود پیدا نکردند مشغول چه کاری شدند؟
- ۷ - منظور پدر خردمند شان از گنج پنهان چی بود؟

پادشاه و بزرگ دربار

یکی از پادشاهان ژاپن، بیست ظرف چینی قدیمی داشت که خیلی به آنها علاقمند بود. اتفاقاً روزی یکی از ظرف روزی یکی از ظرف های چینی از دست غلام مخصوص پادشاه به زمین افتاد و شکست، شاه فوق العاده خشمگین شد و دستور کشتن غلام را داد.

یکی از بزرگان دربار که در آنجا حضور داشت گفت: «پادشاها از کشتن این بیچاره در گذر که من داروئی دارم که چون بر ظرف شکسته بمالند مثل روز اول می شود، لیکن باید بقیه ظرف ها را ببینم و بعد نسبت به ترمیم ظرف شکسته اقدام نمایم. شاه دستور داد تا بقیه ظرفهای قیمتی را حاضر کردند. در این وقت آن مرد، پیش آمد و به یک ضربه پا همه ظرف ها را شکست!

پادشاه از این عمل به سختی خشمگین گردید و علت این عمل را جویا شد. مرد گفت: «چون به یقین می دانستم که این ظرف ها سبب هلاک بیست نفر بی تقصیر خواهد شد بدین جهت این کار را کردم تا اگر دستور کشتن می دهی، تنها مرا کشته باشی و بی سبب خون جمعی بی گناه ریخته نشود!»

پادشاه لحظه ای در فکر فرو رفت و دانست که حق با او است، لذا دستور داد غلام را آزاد کردند و آن مرد بزرگ را تحسین بسیار نمود.

پرسش:

۱. پادشاه چند تا ظرف چینی داشت و چرا به آنها علاقمند بود؟
۲. وقتی چینی از دست غلام افتاد و شکست شاه چه دستوری داد؟
۳. یکی از بزرگان دربار چه پیشنهادی کرد؟
۴. مرد چرا تمام ظرف های چینی را شکست؟
۵. مرد در جواب سؤال پادشاه که چرا ظرف ها را شکستی چه جواب داد؟

خیّاط و کوزه

یک روزی بود و یک روزگاری. در روزگار قدیم در شهر ری خیّاطی بود که دگانش بر سر راه گورستان بود و ناچار وقتی کسی می‌مرد و به گورستانش می‌بردند از جلو دکان خیّاط می‌گذشتند.

یک روز خیّاط به فکر افتاد که مردگان شهر را در هر ماه بشمارد و چون خواندن و نوشتن و حساب کردن نمی‌دانست فکری کرد و میخی به دیوار کوبید و کوزه‌ای به آن آویزان کرد و یک مشت ریگ پهلوی آن گذاشت و هر وقت از جلو دگانش جنازه‌ای به گورستان می‌بردند سنگریزه‌ای در کوزه می‌انداخت و آخر ماه کوزه را خالی می‌کرد و سنگها را می‌شمرد و حساب می‌کرد که در این ماه چند نفر مرده‌اند. کم کم همسایگان خیّاط هم این را فهمیدند و این موضوع برای آنها یک سرگرمی شده بود و گاهی که با او صحبت می‌کردند می‌پرسیدند: «خوب، اوضاع از چه قرار است؟» خیّاط می‌گفت: «امروز دو نفر در کوزه افتاده‌اند!»

روزگاری گذشت و اتفاقاً خیّاط بیمار شد و از دنیا رفت و دگانش بسته شد و چند روز بعد از آن کسی با مرد خیّاط کاری داشت و از مرگ او خبر نداشت و وقتی به دگان خیّاط رسید و دگان را بسته یافت از یکی از همسایگان پرسید: «خیّاط کجاست؟» همسایه گفت: «خیّاط هم در کوزه افتاد.»

از آن روز این حرف ضرب المثل شد و وقتی کسی به یک بلایی دچار می‌شود که پیش از آن در آن باره حرف می‌زده، می‌گویند: «خیّاط در کوزه افتاد.»

پرسش

۱. دگان خیّاط در کجا بود؟
۲. خیّاط به چه فکری افتاد؟
۳. برای همسایگان خیّاط چه چیزی باعث سرگرمی شد؟
۴. چرا «خیّاط در کوزه افتاد» ضرب المثل شد؟

خانم امیری زن خوشبختی است

خانم امیری زن خوشبختی است. این را همه می گویند. مادر خانم امیری هر صبح شنبه برای دخترش اسفند دود می کند و از ته دل می گوید: «تا بترکد چشم حسود ...» مادر خانم امیری معتقد است دود کردن اسفند صبح روزهای شنبه شگونش بیشتر است.

خانم امیری بیست و پنج سالی می شود که با آقای جوادی ازدواج کرده است. آقای جوادی مرد خوبی است. این را همه می گویند. کارمند وزارت آموزش و پرورش است. معلم نیست. لیست حقوق ماهانه معلم ها را تهیه می کند. او دقیقاً می داند هر یک از معلم های ناحیه چقدر حقوق می گیرند. می داند چه کسی ترفیع گرفته است و چه کسی نگرفته است.

آقای جوادی هر ماه، بعد از آماده کردن و تحويل دادن لیست حقوق معلم ها، حقوق خودش را می گیرد و می آورد یکراست می دهد به خانم امیری. خانم امیری یک فنجان چای تازه دم می گذارد جلو شوهرش. عصر اولین روز هر ماه، وقت برگشتن آقای جوادی به خانه، چای همیشه تازه دم است. خانم امیری لبخند می زند و می گوید: «خسته نباشی» و شروع می کند به شمردن پولها. او دقیقاً می داند که حقوق ماهانه شوهرش چقدر است، تا آخرین تومان و آخرین ریالش ولی باز هر ماه آن را می شمارد، تا آخرین تومان و آخرین ریالش. انگار از این کار لذت می برد. آقای جوادی می گوید: «تو که می دانی چقدر است، چرا باز می شماری؟»

پرسشها:

- ۱ - مادر خانم امیری چرا هر شنبه اسفند دود می کند؟
- ۲ - خانم امیری چند سالی می شود با آقای جوادی ازدواج کرده است؟
- ۳ - آقای جوادی کارمند کدام وزارت خانه است؟
- ۴ - آیا آقای جوادی معلم هستند؟

مثل بهار

دختر دست مادرش را گرفته بود و می‌رفت. مادر گاهی می‌ایستاد به تماشای ویترین مغازه‌ها، کفاسی‌ها که کفش‌های پاشنه بلند و پاشنه کوتاه، سفید و مشکی قرمز و طلایی، می‌فروختند و، با لبه‌های پهن که رویشان دسته گل‌های مصنوعی بود یا روبان‌های رنگی، طاقه‌های بازِ محمل و ساتین و تور در ویترین پارچه فروشی‌ها توی هم می‌دوید.

زن پرسید: «این گردنبند قشنگه؟»

دختر سر تکان داد. دو گیس باfte اش یکی افتاد روی سینه، یکی پشت سر. نفهمید چرا مخالفت کرد. شاید برای این که نشان بدهد بزرگ شده است. همه گردنبندها قشنگ بودند. و همه پارچه‌ها و همه کلاه‌ها و مردم که در پیاده رو شلوغ از رو به رو می‌آمدند و دختر قبل از هر چیز کفش‌هایشان را می‌دید. به کفشها نزدیکتر بود. زنها کفش‌های پاشنه بلند به پا داشتند با جورابهای توری. کفش‌های مردها قهوه‌ای بود یا مشکی، یا سفید و مشکی با چرخکاری‌های ظریف، واکس خورده و تمیز، مادر تنده‌ی رفت و دختر کم فرصت می‌کرد سر بلند کند. چند بار فرصت کرد و سر بلند کرد، دید آسمان آبی است و خورشید می‌درخشید.

زن ایستاد. دست دختر را کشید. «همین جاست.»

پرسشها

- ۱ - دختر دست کی را گرفته بود و می‌رفت؟
- ۲ - مادر گاهی می‌ایستاد و کجا را تماشا می‌کرد؟
- ۳ - آیا شما از کفش پاشنه بلند خوشتان می‌آید؟ یا کفش پاشنه کوتاه؟
- ۴ - کلاه فروش‌ها چی می‌فروشنند؟
- ۵ - زن از دخترش چی پرسید؟
- ۶ - دختر در جواب مادر چی گفت؟

راحله و اطلسی هایش

عصر است. بعد از آبپاشی، حیاط و باغچه گرمای روز طولانی تابستان را بیرون می دهند. باغچه پر از اطلسی است - اطلسی های سفید و کبد و صورتی.

راحله شیر آب را می بندد. شلنگ را به آرامی دور هم می پیچد و گوشه حیاط می گذارد. می رود روی پله دوم از سه پله ای که حیاط را به ایوان وصل می کند می نشیند. دست زیر چانه می زند، به اطلسی ها نگاه می کند و نفس بلندی می کشد.

شستن حیاط و آب دادن به باغچه آخرین وظیفه روزش است. از این کار لذت می برد، اما از فکر این که بعد دیگر کاری برای انجام دادن نیست، نا آرام و پریشان است. بیکار ماندن را دوست ندارد. بیکار که می ماند، فکر می کند - فکرهای ناخوشایند، خیالهای بیهوده. از فکر و خیالها می ترسد. به باغچه نگاه می کند و با خودش می گوید: «زیرزمین را مرتب می کنم. چیزهای اضافی و به درد نخور را می گذارم کنار و فردا می دهم به محرم.» محram رفتگر محله است و راحله می داند که در زیرزمین هیچ چیز اضافی پیدا نخواهد کرد، می داند که شاید یکی دو ساعت آنجا بپلکد و فقط دستهایش را با پاک کردن گرد و خاک روی اشیا کثیف کند. می داند، اما گذراندن یکی دو ساعت هم غنیمت است.

پرسشها :

- ۱ - حیاط خانه راحله چه گلهای دارد؟
- ۲ - راحله شلنگ را کجا می گذارد؟
- ۳ - راحله در کجای حیاط می نشیند؟
- ۴ - آخرین وظیفه روزانه راحله چیست؟
- ۵ - آیا راحله بیکار ماندن را دوست دارد؟
- ۶ - وقتی بیکار می شود به چی فکر می کند؟

حکایت

شخصی مرتبه بزرگ یافت دوستی برای تهنيت پیش او رفت. آن شخص پرسید «کیستی و چرا آمده ای» دوست او شرمنده گردید و گفت: «مرا نمی شناسی؟ دوست قدیم تو ام، برای تعزیت نزد تو آمده ام، شنیده ام که کور شده ای.»

۱. دوست آن شخص چرا شرمنده شد؟
۲. آن شخص به دوستش چه گفت؟
۳. دوستش در جواب چه گفت؟

دانش و پاداش

یک روزی بود و یک روزگاری. یک روز پیرزنی پرسان پرسان به سراغ بزرگمهر حکیم آمد و در حضور جمعی که آنجا بودند مسأله ای پرسید.
بزرگمهر فکری کرد و گفت: «نمی دانم باید مطالعه کنم و فکر کنم و جواب مسأله را پیدا کنم.»

پیرزن پر توقع که خیال می کرد بزرگمهر همه چیز را می داند از این جواب ناراحت شد و گفت؛ خیلی عجیب است و نامربوط است! وزیر انوشیروان هستی و نامت بزرگمهر حکیم است و همه تو را مردی دانشمند می دانند و از پادشاه چندین و چندان مزد و پاداش می گیری و وقتی هم پیرزنی مثل من از تو چیزی می پرسد می گویی نمی دانم! پس اینهمه احترام را برای چه داری و آنهمه پول را برای چه می گیری؟»

بزرگمهر با مهربانی جواب داد: «من بعضی از چیزها را می دانم و بسیاری از چیزها را نمی دانم و هرگز ادعا نکرده ام که همه چیز را می دانم احترامی هم که دارم برای همان چیزهای اندکی است که می دانم، همچنانکه جواب مسأله تو را ندانستم و تو به من احترامی نکردی. هر چه هم پاداش می گیرم برای همان چیزهای کمی است که می دانم و اگر می خواستند برای آنچه نمی دانم به من مزد و پاداش بدھند، همه آنچه در دنیا هست بس نبود زیرا چیزهایی که نمی دانم خیلی زیاد است. یقین داشته باش پادشاه هم برای آنچه نمی دانم به من پاداش نمی دهد. اگر قبول نداری برو از پادشاه بپرس.»

پیرزن شرمنده شد و گفت: «از آنچه گفتم پوزش می خواهم. من پنجاه سال است مکتبدارم و مردم مرا دانا می شمارند و چیزهای بسیاری از من می پرسند و تا یاد دارم هرگز نگفته ام نمی دانم. همیشه جوابی داده ام و مردم را از خود راضی نگه داشته ام.»
بزرگمهر در جواب گفت: «کسی که می خواهد همه را از خود راضی نگه دارد ناچار ضد و نقیض زیاد خواهد گفت و کسی که می خواهد به همه چیز جواب بدھد و

هرگز نگوید نمی دانم ناچار بسیاری از جوابهایش نادرست خواهد بود. هر کسی چیزهایی می داند و چیزهای بیشتری نمی داند، همه چیز را همگان دانند و همگان هنوز از مادر زائیده نشده است.

پرسشها

۱. بزرگمهر کی بود؟
۲. چه کسی از بزرگمهر سؤال کرد و بزرگمهر چه جواب داد؟
۳. چرا پیرزن اظهار شرمندگی کرد و از بزرگمهر عذرخواهی کرد؟

حرف مردم

یک روز پیر مردی با پرسش از صحرا بر می گشتند. هر دو سوار الاغ بودند، در راه شخصی به آنها برخورد و گفت: «اینها عجب آدم‌های بی انصافی هستند، دو تائی سوار یک حیوان مردنی شده‌اند!» چون چند قدمی از آن مرد دور شدند، پیرمرد از خر پیاده شد و به پرسش گفت: «مثل اینکه این مرد راست می گفت، تو سوار باش، من پیاده می آیم.»

هنوز بیش از یک منزل را طی نکرده بودند که مردی در سر راه به آنها برخورد و گفت: «ببین این جوان سوار الاغ است و پیرمرد بیچاره راه می رود!» پسر جوان چون این حرف را شنید، از الاغ پیاده شد و پدرش را با اصرار روی خر نشاند.

چون کمی دیگر راه رفتند، شخص سومی به آنها رسید و گفت: «ببین این مرد گردن کلفت سوار الاغ شده و طفل بیچاره‌ای را پیاده به دنبال خود می کشاند. پیر مرد از شنیدن این حرف عصبانی شد و از الاغ پیاده گشت و همراه پرسش در حالی که افسار الاغ را به دست داشت، به سوی ده به راه افتادند. نزدیکی‌های ده، یکی از آشنایان به آنها رسید و با دیدن آن وضع و حال گفت: این پدر و پسر عجب آدم‌های احمقی هستند که با وجود داشتن یک چنین الاغ زبر و زرنگ، پا پیاده راه می روند.»

پیرمرد با شنیدن این حرف‌ها، دست به عمل حیرت انگیزی زد و الاغ را روی کول خود سوار کرد و با همان ترتیب وارد ده شد.

مردم با دیدن آن وضع و حال در حالی که از خنده روده بُر شده بودند از پیرمرد پرسیدند: «این دیگه چه وضعی است؟»

پیرمرد در حالی که زیر بار الاغ خسته شده بود و عرق می ریخت گفت: «ولله من که از دست حرف مردم خسته شدم. هر کاری کردم مردم ایراد گرفتند، حالا الاغ را به دوش خود گرفتم، می خواهم ببینم باز هم مردم حرفی دارند یا خیر؟!»

پرسشها :

۱. پیرمرد و پسرش از کجا می آمدند و سوار چی شده بودند؟
۲. در راه شخصی که به آنها برخورد چی گفت؟
۳. پیرمرد با شنیدن این حرف چه تصمیمی گرفت؟
۴. در راه شخص دوّمی که به آنها برخورد چی گفت؟
۵. پسر جوان با شنیدن این حرف چه تصمیمی گرفت؟
۶. شخص سوّمی وقتی به آنها رسید چی گفت؟
۷. پیرمرد با شنیدن این حرفها چه تصمیمی گرفت؟
۸. در نزدیکی های ده یکی از آشنايانی که به آنها رسید چرا تعجب کرد؟
۹. تصمیم نهائی پیرمرد با شنیدن این حرف ها چه بود؟
۱۰. وقتی پیرمرد الاغ روی کول خود وارد ده شد مردم چرا خنده دند؟
۱۱. پیرمرد به مردم ده که می خنده دند چه جواب داد؟

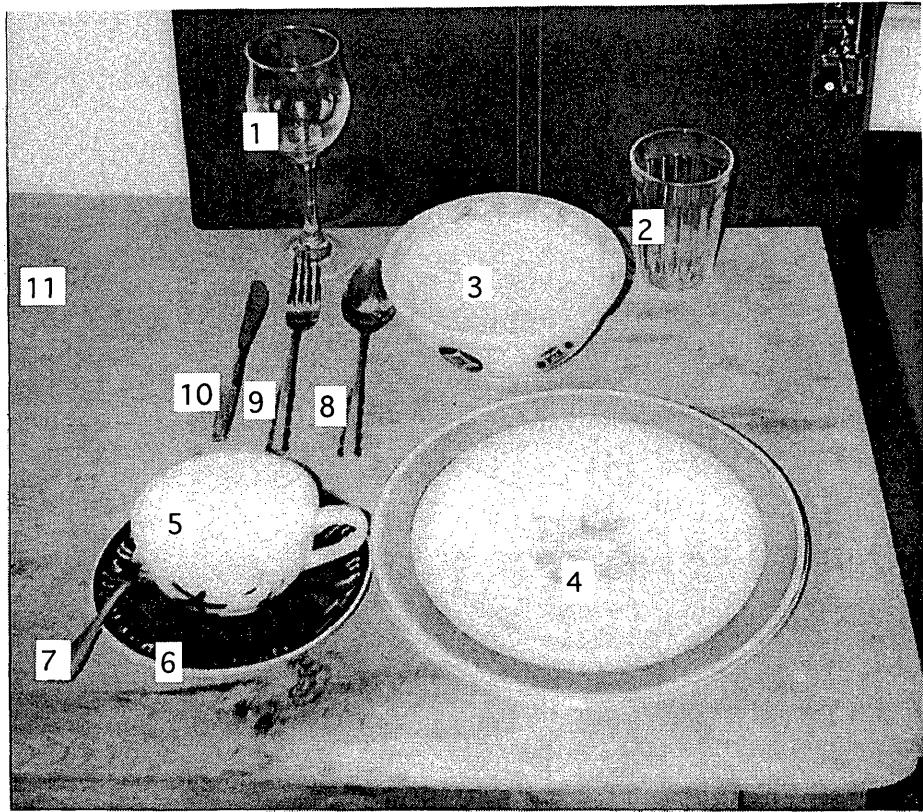
ابو علی سینا دانشمند بزرگ ایران

در حدود هزار سال پیش در یکی از شهرهای ایران پسری به دنیا آمد. مادرش نام او را حسین گذاشت. حسین از پنج سالگی شروع به درس خواندن کرد. او با علاقهٔ بسیار درس خواند و به سرعت پیشرفت کرد. کتاب را بیش از هر چیز دوست داشت و به تدریج برای خود کتابخانهٔ کوچکی درست کرد. هر جا کتاب تازه‌ای می‌دید می‌خرید و آن را با دقّت می‌خواند و در کتابخانه اش نگاه می‌داشت.

حسین در هیجده سالگی طبیب ماهر و مشهوری شد که به معالجهٔ بیماران می‌پرداخت. در این موقع به او ابو علی سینا می‌گفتدند. هر کس که بیماری سختی داشت پیش او می‌رفت. ابو علی سینا او را درمان می‌کرد. ابو علی سینا بسیار مهربان بود و بیماران محتاج را به رایگان معالجه می‌کرد. ابو علی سینا که به او «ابن سینا» هم می‌گویند نتیجهٔ مطالعات خود را در کتابهای بسیاری نوشته است. کتابهای این دانشمند ایرانی به زبانهای گوناگون ترجمه شده است و هنوز هم در دانشگاه‌های بزرگ جهان دانشجویان و دانشمندان کتابهای ابن سینا را مطالعه می‌کنند. یکی از کتابهای معروف ابن سینا «قانون در طب» است که در علم طب نوشته شده است.

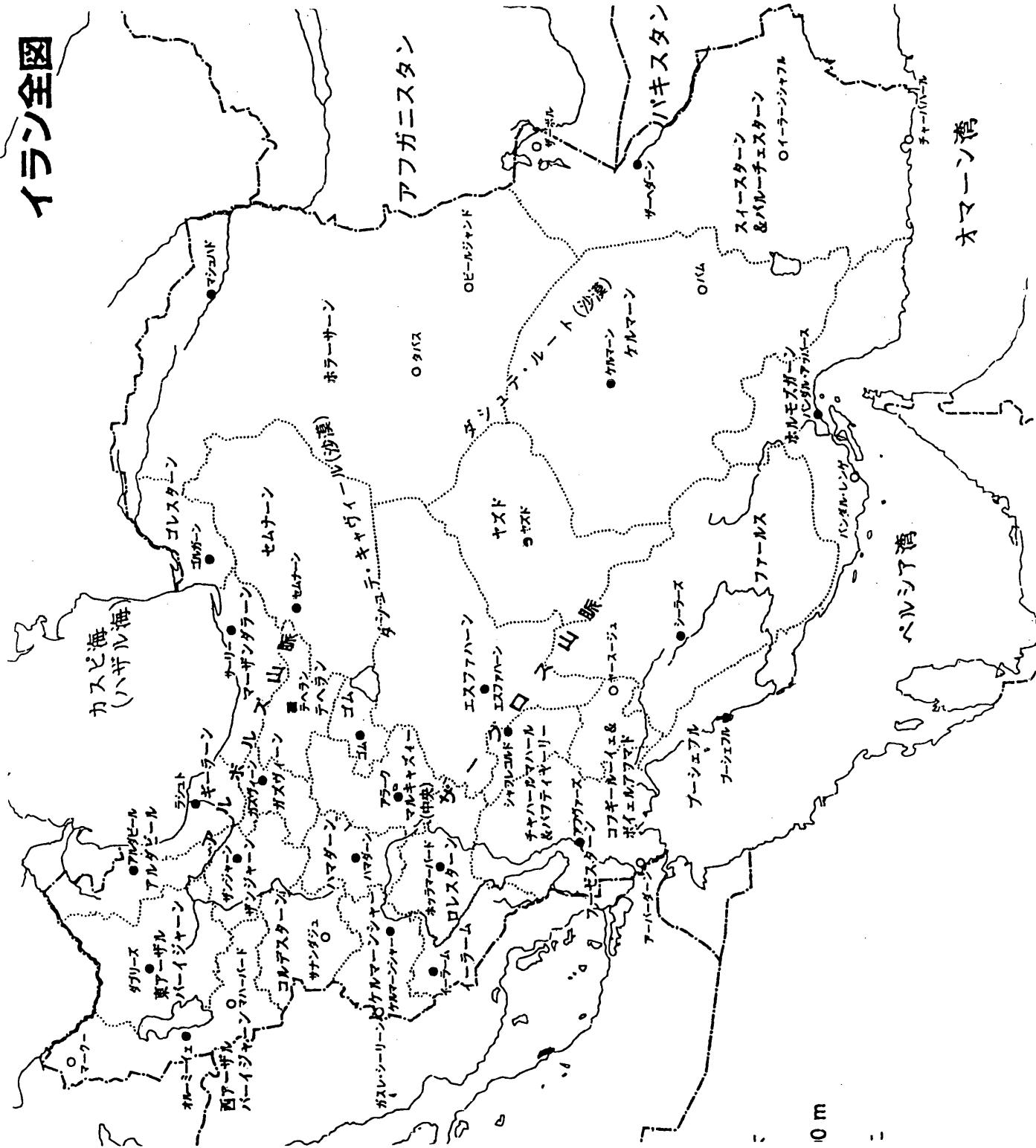
سؤالات

- ۱ حسین از چند سالگی شروع به درس خواندن کرد؟
- ۲ حسین در چند سالگی طبیب ماهر و مشهوری شد؟



- | | | |
|------------------|------------------|-----------|
| ۱ گیلاس | ۲ لیوان | ۳ کاسه |
| ۴ بُشقاب | ۵ فِنجان | ۶ نَعلبکی |
| ۷ قاشقی چای خوری | ۸ قاشقی سوپ خوری | ۹ چَنگال |
| ۱۰ کارد | ۱۱ میز | |

図全ラシイ



اجازه گرفتن	許可を得る
آخراً	最近 axīran
اداره	役所, 局 edāre
اداره آموزش و پرورش	教育局 āmūšeš o parvareš
郵便局	edāre-ye post
ادامه دادن (به)	adāme dādan (be)
(を) 続ける	続ける
文学	ادبیات adabīyāt
安い	ارزان arzān
から,(材料) で,について	az
竜	اژدر aždar
馬	اسب asb
玩具	اسباب بازی asbab bāzī
大学の先生	استاد ostād
州	استان ostān
イスタンブル	استانبول estānbūl
採用	استخدام estexdām
採用される	استخدام شدن
採用する	استخدام کردن
プール	استخر estaxr
骨	ostoxān
休息	استراحت esterāhat
使う	استفاده کردن (از) estefāde kardan
イスラーム	اسلام eslām
名前	اسم esm
食欲	اشتها eštēhā
イスファハーン	اصفهان esfahān
大部分の	اغلب ağlab-e
今	اکنون aknūn
もし	اگر agar
しかし	اما ammā
貸す	امانت دادن amānat dādan
試験	امتحان emtehān
今日	امروز emrūz
今朝	امروز صبح emrūz sobh
今夜	امشب emšab
希望する,期待する	امیدوار بودن omidavār
投げる	انداختن andāxtan
革命	انقلاب engelāb
engelāb-e	انقلاب اسلامی ایران
イラン・イスラーム革命	eslāmī-ye īrān
親類	اقوام ogvām

آب	水 āb
آب و هوا	気候 āb o havā
آبازور	電気の笠 ābājūr
آبمیوه / آب میوه	ジュース āb-mīve
آبی	水色 ābī
آثار	作品 āsār
آرامگاه	廟 ārāmgāh
آزاد	自由な āzād
آزادی	自由 āzādī
آسمان	空,天 āsemān
آسیا	アジア āsiyā
آشپزی کردن	料理する āspazī kardan
آشنا	知人 āšenā
آشناشدن	知り合いになる āšenā šodan
آفتاب	太陽,日光 āftāb
آفتابی	晴れた āftābī
آفریقا	アフリカ āfrīqā
آقا	さん(名の後に付ける),主人 āgā
آقای	さん(姓の前に付ける) āgā-ye
آلbum	アルバム ālbūm
آلوده	汚染された ālūde
آماده	準備のできた āmāde
آماده کردن	準備する āmāde kardan
آمدن	来る āmadan
آمریکا	アメリカ āmrīkā
آموختن	教える, 学ぶ āmūxtan
آموزش و پرورش	اموزش و پرورش āmūzeš o parvareš
آن	あれ,あの/それ,その ān
آنجا	あそこ/そこ ānjā
آنها	あれら/あの人達 ānhā
آوردن	持ってくる, 連れてくる āvardan
آیا	かどうか āyā
آینده	将来 āyande
ابرو	眉 abrū
ابری	曇った abrī
اتاق	部屋 otāq
اجازه	許可 ejāze
اجازه دادن	許可する ājazeh dādan

大きい bozorg بزرگ
 閉める bastan بستن
 盤 bošgāb بشقاب
 後 ba'd بعد
 後で ba'dan بعداً
 午後 ba'd az zohr بعد از ظهر
 脇 bağal بغل
 高い/長い boland بلند
 高さ/長さ bolandi بلندی
 はい bale بله
 です/ある būdan بودن
 に be به
 春 bahār بهار
 より良い behtar بهتر
 最も良い behtarīn بهترین
 目をさます bīdār šodan بیدار شدن
 外に出る bīrūn raftan بیرون رفتن
 ビスト 20 bīst
 より多い (<) bīštar بیشتر
 最も多い (<) bīštarīn بیشترین
 病院 bīmārestān بیمارستان
 鼻 bīnī بینی

پ
 足 pā پا
 公園 pārk پارک
 パリ pārīس پاریس
 15 pānzdah پانزده
 500 pānsad پانصد
 首都 pāytaxt پایتخت
 煮る poxtan پختن
 父 pedar پدر
 もてなす pazirā'i kardan پذیرائی کردن
 人口の多い por jam'iyat پر جمعیت
 お金を払う, pardāxtan پرداختن
 従事する (به) پرداختن (به)
 鳥 parande پرنده
 一昨日 parīrūz پریروز
 委れた pajmorde پژمرده
 では pas پس
 返す pas dādan پس دادن
 明後日 pasfardā پس فردا

iran ایران īrān
 irāni ایرانی
 istgāh ایستگاه
 īmān ایمان
 īn این īn
 īnjā اینجا
 īn rūzhā این روزها
 īnhā اینها

ب
 と一緒に/で(手段) bā با
 にもかかわらず bā inke با اینکه
 回 bār بار
 雨 bārān باران
 雨が降る bārān āmadan باران آمدن
 開いた bāz باز
 開いている bāz būdan باز بودن
 開く bāz šodan باز شدن
 開ける bāz kardan باز کردن
 バザール, 市場 bāzār بازار
 遊び bāzī بازی
 遊ぶ bāzī kardan بازی کردن
 クラブ bāšgāh پاشگاه
 果樹園, 庭園 bāg باغ
 の上方に bālā-ye بالای
 銀行 bānk بانک
 一緒に bā ham با هم
 賢い bāhūš باهوش
 子供 bačče بچه
 許す baxšidāن بخشیدن
 悪い bad بد
 なしに bedūn-e بدون
 等しい barābar برابر
 と等しい barābar bā برابر با
 兄・弟 barādar برادر
 のために barāye برای
 取り上げる,取る bardāštan برداشت
 持っていく bordan بردن
 雪 barf برف
 電気 barg برق
 帰着 bargašt برگشت
 戻る bargaštan برگشتن
 米 berenj برقج

公休日 ta'tīl-e rasmī	تعطیل رسمی
	تعطیلات
ta'tīlāt-e tābestān	تعطیلات تابستان
夏休み	
分ける tağsim kardan	تقسیم کردن
	暦 tagvīm
	苦い talx
電話 telefon	تلفن
telefon kardan/zadan	تلفن کردن/زدن
電話する	
テレビ televiziyon	تلویزیون
見る,見物する tamāšā kardan	تماشا کردن
	全ての tamām-e
終わる tamām šodan	تمام شدن
終える tamām kardan	تمام کردن
練習 tamrīn	تمرین
	清潔な tamīz
テニス tenis	تنیس
	お前 to
	تو
	中 tū
発展 touse'e	توسعه
dar hāl-e touse'e	در حال توسعه
発展中の	
発展途上国	کشور در حال توسعه
	東京 tokiyo
	誕生 tavallod
誕生日 rūz-e tavallod	روز تولد
	の中 tū-ye
沈殿物, 濾 tah nešin	ته نشین
テヘラン tehrān	تهران
	銳い tīz
ث	
	秒 sāniye
登録 sabt-e nām	ثبت نام
ج	
	場所 jā
の代わりに be jā-ye	جای بجائی
	面白い jāleb
社会学者 jāme'e šenās	جامعه شناس
社会学 jāme'e šenāsī	جامعه شناسی
	離れた jodā
	جدا

郵便局 postxāne	پستخانه
男児/息子 pesar	پسر
後悔 pašimān	پشیمان
後悔する pašimān šodan	پشیمان شدن
	警官 polis
	50 panjāh
	窓 panjare
木曜日 panjānbe	پنج شنبه
	チーズ panīr
	着る pūšīdan
	お金 pūl
	年老いた pīr
	前 piš
/ piš az zohr	پیش از ظهر / قبل از ظهر
	午前 ġabl az zohr
	額 pišānī
	進歩, 発達 pīšraft
	先進の pīšrafe
kešvar-e pīšrafe	کشور پیشرافت
	先進国
ت	
	まで tā
	個 tā
	ために tā
今まで tā be hāl	تا حالا / تابحال
	夏 tābestān
	歴史 tāriix
	タリخ tārīk
	新しい,新鮮な tāze
	教育, 勉強 tahsīl
	研究 tahgīg
ベッド taxtexāb	تختخواب
	授業,教育 tadrīs
tadrīs kardan	تدریس کردن
授業する,教える	
注意を促す tazakkor dādan	تذکر دادن
	酸っぱい torš
	トルコ torkīye
	感謝 tašakkor
のどのかわいた tešne	تشنہ
励ます tašvīg kardan	تشویق کردن
ほめる ta'rīf kardan (az)	تعریف کردن (از)
	休み ta'tīl
	تعطیل

中国 čin چین

出席する hāzer šodan حاضر شدن
 (健康) 状態 hāl حال
 現在 hāl-e hāzer حال حاضر
 今 hālā حالاً
 きっと hatman حتماً
 動く harakat kardan حرکت کردن
 出発する

庭 hayāt حیاط

外 xārej خارج
 外国人 xāreji خارجی
 想い出 xāterāt خاطرات
 灰色 xākestarī خاکستری
 奥様, 夫人 xānom خانم
 専業主婦 xānom-e xāne-dār خانم خانه دار
 家族 xānevāde خانواده
 家 xāne خانه
 キャヴィア xāviyār خاویار
 さあ xob さあ
 ニュース, 情報 xabar خبر
 神 xodā خدا
 さようなら xodā hāfez خدا حافظ
 壊れた xarāb 糟粕
 柿 xormā خرمالو
 買い物 xarid خريد
 買い物する xarid kardan خريد کردن
 買う xaridán خريدن
 損害 xesārat خسارت
 疲労 xastegī خستگی
 疲れた xaste خسته
 疲れる xaste šodan خسته شدن
 お疲れさま xaste nabāšid خسته نباشید
 けちな xasīs خسیس
 定規 xatt keš خط کش
 笑い xande خنده
 笑う xandidan خندیدن
 眠り, 夢 xāb خواب
 夢を見る xāb dīdan خواب دیدن
 寝る xābīdan خوابیدن

面白目な/面白目に jeddī جدی
 祝う jašn gereftan جشن گرفتن
 祭典 jašnvāre جشنواره
 対 joft جفت
 冊, 表紙 jel'd جلد
 金曜日 jom'e جمعه
 戦争 jang جنگ
 森 jangal جنگل
 南 janūb/jonūb جنوب
 若い, 若者 javān جوان
 世界 jahān جهان
 ツーリスト jahāngard جهانگرد

太った čāg چاق
 ナイフ čāgū چاقو
 頸 čāne چانه
 茶 čāy چای
 なぜ čerā چرا
 灯り čerāg چراغ
 目 češm چشم
 かしこ参りました čašm چشم
 どう četour چطور
 いくら čegadr چقدر
 の通り čonānke چنانکه
 いくつ čand چند
 何回 čand bār چند بار
 何回も čandin bār چندین بار
 フォーク čangāl چنگال
 このような/に čonin چنین
 木材 čūb چوب
 ので, というのは čon چون
 何 če چه
 何色 če rangī چه رنگی
 4 čahār چهار
 4脚 čahār pāye چهار پایه
 14 čahārdah چهارده
 水曜日 čahār šanbe چهار شنبه
 400 čahārsad چهارصد
 顔 čehre چهره
 40 čehel چهل
 چی = چه čīz چیز
 物

	正しい dorost	درست
作る	dorost kardan	درست کردن
	海 daryā	دریا
カスピ海	daryā-ye xazar	دریایی خزر
	湖 daryāče	دریاچه
	砦 dej	دز
	手 dast	دست
	左手 dast-e čap	دست چپ
	右手 dast-e rāst	دست راست
	把っ手 daste	دسته
招く	da'vat kardan	دعوت کردن
	注意 deggat	دقت
注意深く	bā deggat	بادقت
	正確な dagīg	دقیق
	分 dagīge	دقیقه
	1分 yek dagīqe	یک دقیقه
数分, 一寸	چند دقیقه	
	博士, 医者 doktor	دکتر
	鼻 damāg	دماغ
	歯 dandān	دندان
	2 do	دو
	再び do bāre	دو باره
	12 davāz dah	دوازده
	時代, 課程 doure	دوره
	友人 dūst	دوست
	親友 دوست صمیمی	دوست صمیمی
旧友	dūst-e gadīm	دوست قدیم
好む	dūst dāštan	دوست داشتن
	シャワー dūš	シャワー
シャワーを浴びる	dūš gereftan	دوش گرفتن
	月曜日 došanbe	دوشنبه
	飲むヨーグルト dūg	دوغ
	200 devīst	دویست
	村 deh	ده
	10 dah	ده
1万	dah hezār	ده هزار
	口 dahān	دهان
	面会 didār	دیدار
人に会いに行く	به دیدار کسی رفتن	به دیدار کسی رفتن
	見る dīdan	دیدن
	遅い/遅く dir	دیر
遅い時間	dīr vagt	دیر وقت

望む xāstan	خواستن
読む xāndan	خواندن
	姉・妹 xāhar
頼む xāheš kardan	خواهش کردن
	良い/良く xūb
	自身 xod
ボールペン xodkār	خودکار
	万年筆 xodnevīs
	食べる xordan
	xoš āmadīd
ようこそいらっしゃいました.	خوش آمدید
気だてのよい xoš axlāg	خوش اخلاق
	いい匂いの xoš bū
	嬉しい xošhāl
	美味しい xošmazé
	嬉しい xošvag̊t
	大通り xiyābān
	非常に xeili
د	
中 dāxel	داخل
与える dādan	دادن
持っている dāštan	داشت
	知る dānestan
	知識 dāneš
	学生 dānešjū
	学部 dāneškade
	大学 dānešgāh
	小学校 dabestān
	高校の教師 dabir
	高校 dabirestān
	女の子, 娘 doxtar
	ドア dar
	中で, 中に dar
	について darbāre-ye
	等級 daraje
	樹木 deraxt
	痛み dard
歯痛 dandān	درد
痛む dard kardan	درد کردن
	授業 dars
勉強する dars xāndan	درس خواندن
よく勉強する darsxān	درسخوان

美しい	zībā	زیبا
の下	zīr-e	زیر
灰皿	zīrsigārī	زیر سیگاری
		ژ
日本	jāpon	ژاپن
ジャケット	jāket	ژاکت
露	jāle	ژاله
ハム	jāmbon	ژامبون
地方治安警察隊	jāndārmerī	ژاندارمری
一月	jānviye	ژانویه
ゼリー	jele	ژله
將軍	jēnerāl	ژنرال
モード・手芸雑誌	jūrnāl	ژورنال
六月	ju'an	ژوئن
七月	ju'īye	ژوئیه
体操	jīmnāstīk	ژیمناستیک
		س
建物	sāxtemān	ساختمان
作る, 造る	sāxtan	ساختن
時間	sā'at	ساعت
掛け時計	sā'at-e dīvārī	ساعت دیواری
	年	سال
	sāl	سالاد
	sālād	سالم
	sālem	سالم
	sālon	سالن
	sabād	سبد
	sabz	سبز
	sabok	سبک
それから	sepas	سپس
	星	ستاره
	柱	ستون
堅い, 難しい, 非常に	saxt	سخت
厳しい	saxtgīr	سختگیر
	頭	سر
	sar	سرخ
赤	sorx	سرخ
寒い, 冷たい	sard	سرد
紺色	sorme'i	سرمه ای
努める	sa'i kardan	سعی کردن
	旅	سفر
旅をする	safar kardan	سفر کردن
	食布	Sofre

昨日	dīrūz	دیروز
昨夜	dīšab	دیشب
他の	dīgar	دیگر
壁	dīvār	دیوار
	ر	ر
道	rāh	راه
ガイド	rāhnamā	راهنما
ガイダンス	rāhnamā'i	راهنمائی
(doure-ye) ガイダンス	rāhnamā'i	(دوره) راهنمائی
中学		
1/4,15分	rob'	ربع
radd kardan		رد کردن
拒否する, 落第させる		
行進	reje	رژه
体制	rejim	رژیم
レストラン	restorān	ресторан
慣習, 規則	rasm	رسم
正式の, 公式の	rasmī	رسمی
到着する	rasīdan	رسیدن
分野, 領域	rešte	رشته
専攻分野	rešte-ye tahsīli	رسته تحصیلی
雷	ra'd	رعد
行く	raftan	رفتن
色	rang	رنگ
日	rūz	روز
日常の	rūzāne	روزانه
新聞	rūznāme	روزنامه
の上に	rū-ye	روی
	ز	ز
舌, 言語	zabān	زبان
ペルシア語	zabān-e fārsī	زبان فارسی
	zard	زرد
	zerang	زرنگ
婦人, 女性, 妻	zan	زن
婦人用の	zanāne	زنانه
生活	zendegī	زندگی
zendegī kardan		زندگی کردن
生活する, いる		
ペル鳴らす	zang zadan	زنگ زدن
		早い/早く
		زود
		多い/多く
		زیاد

太陽暦	šamsī	شمسی
水泳	šenā	شنا
泳ぐ	šenā kardan	شنا کردن
知る, 見知る	šenāxtan	شناختن
土曜日	šanbe	شنبه
聞く	šenidān	شنیدن
冗談	šūxī	شوخي
夫	šouhar	شوهر
王妃	šahbānū	شہبانو
都市	šahr	شهر
ライオン, 蛇口, ガス栓	šīr	شیر
シーラーズ	šīrāz	شیراز
甘い	šīrīn	شیرین
菓子	šīrīnī	شیرینی
ガラス, ピン	šīše	شیشه
ص		
朝	sobh	صبح
朝食	sobhāne	صبحانه
待つ	sabr kardan	صبر کردن
話す	sohbat kardan	صحبت کردن
	100	صد
10万	sad hezār	صدهزار
声, 音	sedā	صدا
食事をすること	surf-e gазā	صرف غذا
خ		
ゼロ	sefr	صفر
平和	solh	صلح
親密な	samīmī	صميمی
椅子	sandalī	صندلی
顔	sūrat	صورت
勘定書	sūrat hesāb	صورت حساب
	ピンク	صورتی
ض		
厚い	zaxīm	ضخیم
ط		
金色(の), 金製の	talā'ī	طلائی
濃い灰色	tūsī	طوسی
ظ		

白 (い)	sefid	سفید
犬	sag	سگ
サモワール	samāvar	سماور
伝統的な	sonnatī	سننتی
重い	sangin	سنگین
	3	سه
火曜日	se šanbe	سه شنبه
分け前	sahm	سهم
	30	سی
黒(い)	siyāh	سیاه
リンゴ	sib	سیب
	13	سیزده
	300	سیصد
タバコ	sigār	سیگار
映画館	sīnemā	سینما
	盆	سینی
ش		
生徒	šāgerd	شاغرد
夕食	šām	شام
	16	شانزده
肩	šāne	شانه
王	šāh	شاه
夜	šab	شب
なる	šodan	شدن
始める	šorū'	شروع
会社	šerkat	شرکت
参加する	šerkat kardan	شرکت کردن
	開始	شروع
始まる	šorū' šodan	شروع شدن
	始める	شروع کردن
	洗う	شستن
	6	شش
	600	ششصد
	60	شصت
	職業	شغل
	感謝	شکر
	砂糖	شکر
	壊す, 壊れる	شکستن
	チョコレート	شکلات
	混雑した	شلوغ
شمال		

サッカー	fūtbāl	فوتبال
footbāl bāzī kardan	فوتبال بازی کردن	サッカーをする
理解する	fahmīdan	فهمیدن
		ع
		礼拝する 'ebādat kardan
		汗 'arāg
		夕方 'asr
		後ろ 'āqab
		写真 'aks
		関心, 愛着 'alāge
		(に) 関心がある علاقه داشتن (به)
		関心のある, 愛着を持った علاقه مند
午前	gābl az zohr/pīš az zohr	قبل از ظهر
	背丈 qadd	قد
	少々 gādrī	قدری
	古い gādim	قديم
	赤 gērməz	قرمز
	美しい gāšang	قشنگ
	肉屋 gassābī	قصابی
	列車 gatār	قطار
	棚 gafase	قفه
	錠 gōfl	قفل
	心臓 galb	قلب
	ペン galam	قلم
	角砂糖 gānd	قند
	ティーポット gūrī	قورى
	コーヒー gahve	قهوة
	茶色 gahve'ī	قهوة ای
コーヒー沸かし	gahve-jūš	قهوه جوش
	容貌 gīyāfe	قيافه
	ハサミ gēičī	قیچی
	値段 ġeimat	قيمت
		ك
	宮殿 kāx	کاخ
	仕事, 事 kār	کار
働く	kār kardan	کار کردن
	碗 kāse	کاسه
	紙 kāgaz	کاغذ
コンピューター	kāmpiuter	کامپیووتر
	藁 kāh	کاه
	本 ketāb	كتاب
	図書館 ketābxāne	كتابخانه
本屋	ketāb forūš	كتاب فروش
書籍販売業	ketāb forūšī	كتاب فروشی

正午	zohr	ظهر
		ع
		礼拝する 'ebādat kardan
		汗 'arāg
		夕方 'asr
		後ろ 'āqab
		写真 'aks
		関心, 愛着 'alāge
		(に) 関心がある علاقه داشتن (به)
		関心のある, 愛着を持った علاقه مند
		深い 'amīg
		題名 'onvān
		として be 'onvān-e
		غ
		食べ物 gāzā
		غذا پختن
		食事をする gāzā xordan
		غرب garb
		溺れる gārg šodan
		غرق شدن
		日没 ġorūb
		留守 ġeibat
		غيبة
		欠席する ġeibat kardan
		陰口をきく
		ف
		فارس fārs
		farāg التحصیل fāreğot-tahsīl
		فارغ التحصیل شدن (از)
		忘れる farāmūš kardan
		فردا fardā
		明日 fardā šab
		فردا شب
		明朝 fardā sobh
		فردا صبح
		売る forūxtan
		فروختن
		forūšgāh-e bozorg
		فروشگاه بزرگ
		デパート
		فرهنگ farhang
		霧囲気 fazā
		فضا
		活動 fa'āliyat
		فعاليت
		ただのみ faġatt
		فقط
		考える fekr kardan
		فکر کردن
		哲学 falsafe
		فلسفه
		湯飲み fenjān
		فنجان
		ライター fandak
		فندك

散步	gardeš
空腹の	gorosne
得る	gereftan
狼	gorg
暑い	garm
グループ, 学科	gorūh
泣く	gerīye kardan
言う	goftan
花	gol
泥	gel
羊	gūsfand
耳	gūš
聴く	gūš kardan
肉	gūšt
豚肉	gūšt-e xūk
肉販売店	gūšt forūšī
牛肉	gūšt-e gāv
受話器, イヤフォーン	gūšī
頬	gūne
ل	
痩せた	lāgar
唇	lab
食べる	lab be čīzī zadan
服	lebās
どうか, どうぞ	lotfan
レモン	līmū
コップ	livān
م	
母	mādar
ヨーグルト	māst
の物	māl-e
残る	māndan
月	māh
魚	māhi
欲する	māyel būdan
…ないように	mabādā
残念ながら	mota'asefāne
有り難う	motešakkeram
大嫌いな	motanaffer
生まれる	motavalled šodan
のように	mesl-e

文語(の)	ketābī
汚れた	kasīf
どこ	kojā
どれ, いずれ	kodām
する	kardan
バター	kare
人	kas
仕事	kasb o kār
農民	kešāvarz
農業	kešāvarzī
殺す	koštan
引き出し	kešou
国	kešvar
引く, (息などを) 吸う	kešidan
靴	kafš
クラス, 教室	kelās
帽子	kolāh
太い	koloft
少し	kam
助ける, 手伝う	komak kardan
側 (そば)	kenār
スピードの遅い/遅く	kond
刃物の切れない	
短い	kūtāh
小さい	kūček
幼稚園	kūdakestan
山	kūh
古い	kohne
誰	kī
何時	kei
鞄	kif
キログラム	kilo
گ	
ウェイター	gārson
場所	gāh
時	gāh
時には	gāhī
置く	gozāštan
過ごす	gozarāndan
過ぎる	gozaštan
高価な	gerān
猫	gorbe

待ち続ける	منتظر ماندن
転勤	montagel
家	manzel
論理,論理学	manteğ
合理的な	mantegī
非合理的な	غیر منطقی geir-e ----
地区	matağe
毛,特に髪の毛	mū
ワケギ	müsir
音楽	mūsīgī
موش	ネズミ mūš
成功する	موفق شدن movaffaq šodan
	مه meh
月光	ماهتاب mahtāb
印鑑	mohr
親切な,優しい	mehrabān
客	mehmān
パーティー	mehmānī
酒,特に葡萄酒	می mi
広場	ميدان meidān
机,卓	mīz
勉強机	میز مطالعه mīz-e motāle'ē
好む	میل داشتن meil dāštan
西暦	ميلادی milādī
果物	میوه mīve
ن	
失望	نا امید nāomid
薄い	nāzok
手紙	nāme
	パン nān
昼食	nāhār
住所,アドレス	نشانی nešānī
座る	نشستن nešastan
注意,関心	نظر nazar
関心の対象	مورد نظر moured-e nazar
銀製の,銀色	نقره ای noğre'i
観る	نگاه کردن negāh kardan
	心配な negarān
監視人	نگهبان negahbān
礼拝	نماز namāz
	namāz-e jom'e
金曜日の集団礼拝	نماز جمعه namnūnam

収穫物,生産品	محصول mahsūl
場所	محل mahal
職場	mahal-e kār
	مداد medād
消しゴム	مداد پاک کن medād pāk-kon
	مداد تراش medād tarāš
	مدال medāl
	مدت moddat
学校,特に小学校	مدرسه madrese
	مرد mard
	مردانه mardāne
	人々 mardom
	مردم maraz
	مرض mog
	中心 markaz
	مریض marīz
	農地 mazra'e
	مزرعه mojde
	眉 moje
	مسافر mosāfer
召使い	مستخدم mostaxdem
	真っ直ぐ mostagīm
	مسجد masjed
	切望する人 moštāq
	…に忙しい mašgūl-e ... بودن
	難しい moškel
	مشکی meškī
	有名な mašhūr
	مشهور mešhūr
学習,勉強,研究	مطالعه motāle'ē
	現代 mo'āser
	معاصر
紹介する	معرفی کردن mo'arefī kardan
	有名な ma'rūf
	先生,教師 mo'allem
	علم
	普通,通常 ma'mūlān
	店 mağāze
	مغازه magāze
	脳 mağz
	مغز magz
	有益な mofid
	مفید mafid
	論文,論説 mağale
	مقال
	量 meğdar
	مقدار meğdar
	100万 meliyon
	مليون meliyon
	可能な momken
	ممکن momken
	有り難う mamnūnam
	منونم mamnūnam
待つ	منتظر شدن montazer šodan

同様 hamčonin همچنین	番号, 点数 nomre نمره
互いの ham dīgar همیگر	90 navad نود
と一緒に hamrāh bā همراه با	19 nūzdah نوزده
配偶者 hamsar همسر	飲料 nūšābe نوشابه
同級生 hamkelās همکلاس	書く neveštan نوشتن
すべて, みんな hame همه	飲む nūšidān نوشیدن
どこもかしこも hame jā همهجا	9 noh نه
いつも hamīše همیشه	900 nohsad نهصد
まさにこれ (この) hamīn همین	もまた nīz نیز
たった今 hamīn al-ān همین الان	半分 nīm نیم
するや否や hamīn ke همینکه	30分 nīm sā'at نیم ساعت
スイカ hendavāne هندوانه	و
芸術 honar هنر	そして va و
まだ hanūz هنوز	など va ġeire وغيره
空気, 天気, 空 havā هوا	入る vāred šodan وارد شدن
飛行機 havāpeimā هوایپیما	大学に入学する واریدانشگاه شدن
けっして hīč vaqt هيچوقت	車両 vāgon واگن
ی	バレーボール vālibāl والیبال
あるいは yā ياد	省庁 vezārat xāne وزارت خانه
覚える yād gereftan ياد گرفتن	祖国 vatan وطن
11 yāzdah يازده	…時(とき) vaqtī ke وقتی که
氷 yax يخ	しかし valī ولی
1 yek يك	ه
日曜日 yekšanbe يکشنبه	18 hejdah هجدہ
のうちの一つ, 一人 yekī az يکی از	プレゼント hediye هدیہ
	毎日 har rūz هر روز
	毎年 har sāl هر سال
	毎晩 har šab هر شب
	毎週 har hafte هر هفته
	…れば…ほど harče هرچے
	1000 hezār هزار
	8 hašt هشت
	80 haštād هشتاد
	800 hašt sad هشتصد
	7 haft هفت
	70 haftād هفتاد
	700 haftsad هفتصد
	週 hafte هفته
	先週 hafte-ye gozašte هفتگذشته
	17 hefdah هفده
	…も ham هم

平成11年度言語研修ペルシア語教材

ペルシア語入門

羽田亨一 Adeleh SA 'IDZADEH

1999(平成11)年7月23日

発行 東京外国语大学

アジア・アフリカ言語文化研究所

東京都北区西ヶ原4-51-21

TEL 03-3910-9147(代)

印刷 株式会社 寿工業写真社
東京都北区滝野川1-90-8